

JVC

ワイヤレスインターカムシステム

型名 **WT-T600シリーズ**

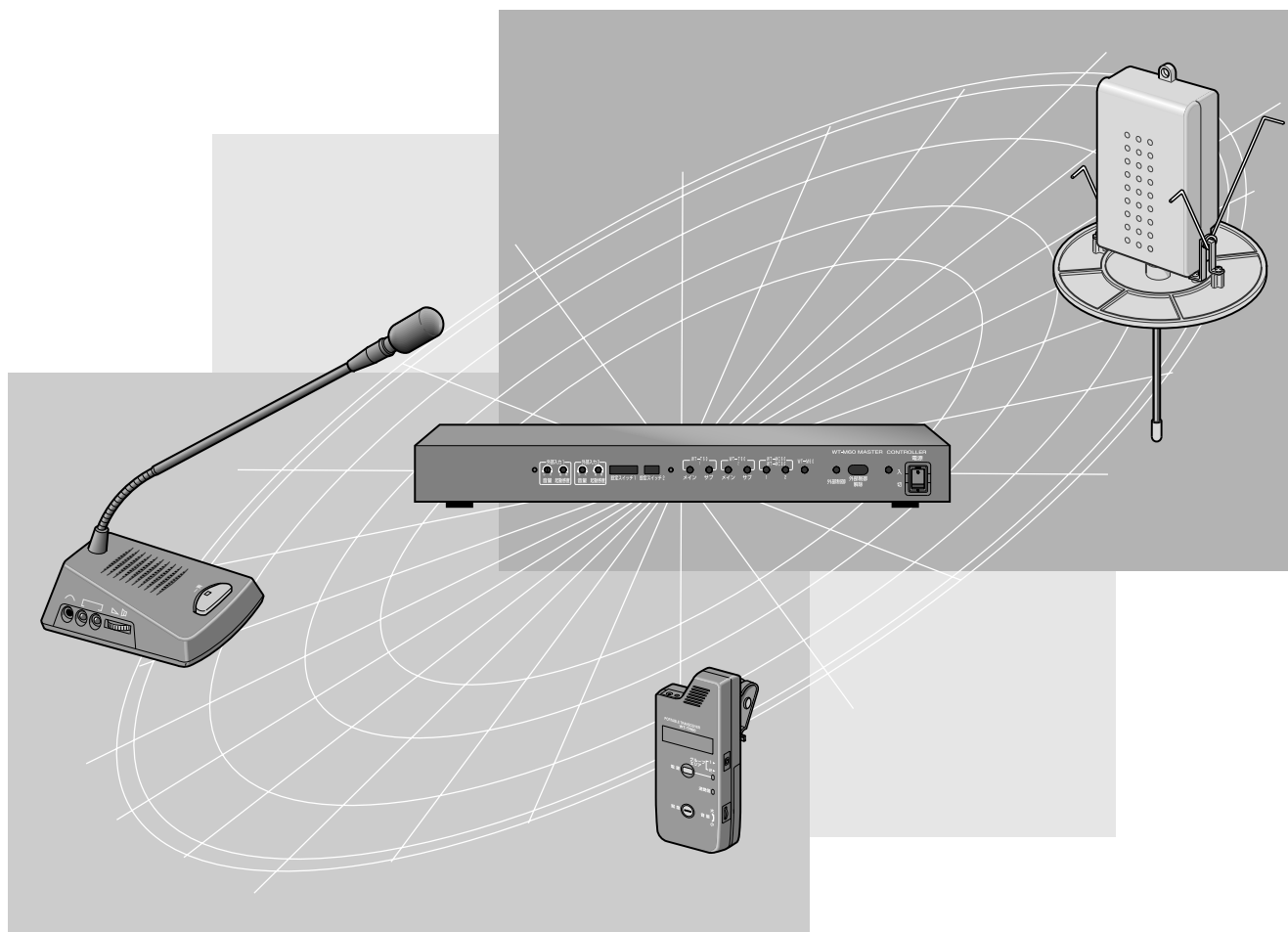
取扱説明書

はじめに

操作

設置

その他



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「安全上のご注意」「電池の取り扱いについてのご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき安全にお使いください。そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

設置する場合は、24 ページ以降の

設置をお読みください

特長

- ✓ **400MHz 帯、10mW の採用**
明瞭な音で広いエリアで通話がおこなえます。
- ✓ **免許および申請手続き不要**
設置したその日から使用できます。
- ✓ **個別通話**
操作器からの呼び出しで特定子機のみと会話できる個別通話は、最大 20 台まで設定できます。
- ✓ **グループ運用**
最大 2 グループで使用できます。
必要なグループだけに情報を伝えることができます。
子機の参加グループをスイッチで変更ができます。
- ✓ **子機**
子機は無制限に追加できます。
アンテナを内蔵し、装着時にじゃまになりません。
バッテリー単体での充電ができ、バッテリーを取り換えることにより、子機を 24 時間連続して使用できます。バッテリー 1 個の連続使用時間は 16 時間です。(4 時間充電、10% 使用率)
(使い方によって、使用時間は変化します)
(☞5 ページ「バッテリーについて」)
- ✓ **外部入力**
ホールコンピューターなどの外部入力音声の子機に伝えることができます。
外部入力音声は、2 系統入力できます。
- ✓ **マイクの組み合わせ**
ワイヤレスマイクロホン (**WM-P980**) とコントロールマイクロホン (**WT-UM12**) を組み合わせることにより業務連絡と、店内放送がマイク 1 本でおこなえます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

-  操作上の注意が書かれています。
-  機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  参考ページや参照項目を示しています。

■本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製などをおこなうことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、TM、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書ではマスターコントローラー **WT-M60** を「制御機」、ホールマスター **WT-MC80/MC60** を「操作器」、ポータブルトランシーバー **WT-TR60** を「子機」と表記することがあります。

もくじ

はじめに

特長.....	2
もくじ	3
安全上のご注意.....	4
正しくお使いいただくためのご注意.....	5
システム構成図.....	6
各部のなまえとはたらき	
・ ポータブルトランシーバー (WT-TR60)	7
・ マスタートランシーバー (WT-T60)	8
・ マスターコントローラー (WT-M60)	9
・ ホールマスター (WT-MC60)	10
・ ホールマスター (WT-MC80)	11

操 作

お使いになる前の準備	
・ 充電する	12
・ 電源を入れる	12
子機から操作器や他の子機を呼び出す	13
操作器から一斉指示する (通常の業務連絡)	14
操作器 (WT-MC80) からグループ別に一斉指示する ...	15
操作器 (WT-MC80) から個別呼び出しする	16
応答する／通話に参加する	
・ 子機で応答する／子機で通話に参加する	17
・ 操作器で応答する／操作器で通話に参加する	17
子機のグループ／エリアを切り換える	
・ グループ／エリアを手動で切り換える.....	18
・ エリアを自動で切り換える	18
子機から一斉指示する	19
子機から子機番号「1」を呼び出す	20
外部機器を制御する	
・ 子機の機能ボタンで外部制御する	21
・ 操作器 (WT-MC80) の外部制御ボタンで外部制御する ...	21
外部機器から入力した音声を送る.....	22
店内放送をする.....	23

設 置

こんなことができます

・ スタンドアローン型のシステム構成例.....	24
・ 操作器接続型のシステム構成例	25
・ 制御部接続型のシステム構成例	26

マスタートランシーバー (WT-T60) の送受信範囲 ...

システム結線図.....

システム設定

・ マスタートランシーバー (WT-T60) の設定	30
・ ホールマスター (WT-MC60) の設定.....	30
・ マスターコントローラー (WT-M60) の設定	30

周波数グループの設定.....

ポータブルトランシーバー (WT-TR60) の子機番号設定...32

ポータブルトランシーバー (WT-TR60) のその他の設定...33

ボイススクランブルの設定

結線の記録シート.....

接続

・ マスタートランシーバー (WT-T60) 2 台をつなぐ ...	36
・ ホールマスター (WT-MC60) と マスタートランシーバー (WT-T60) をつなぐ	37
・ マスターコントローラー (WT-M60) とつなぐ	38
・ マスターコントローラー (WT-M60) の 外部入力・外部制御信号.....	39

マスターコントローラー (WT-M60) をラックに取り付ける...39

マスタートランシーバー (WT-T60) を天井に取り付ける...40

マスタートランシーバー (WT-T60) を壁に取り付ける ...41

ホールマスター (WT-MC80) の設置.....42

その他

ランプ表示

こんなときは

保証とアフターサービス

仕様.....

安全上のご注意

警告

■機器を分解・改造しない。

火災・感電の原因となります。また、マスタートランシーバー（WT-T60）およびポータブルトランシーバー（WT-TR60）の改造は法律でも固く禁じられています。



分解禁止

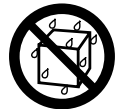
■強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

機器の故障や、電池の漏液・発光・破裂・火災の原因になります。



■機器に水を入れたり、ぬらさない。

火災・感電・故障の原因となります。また、屋外や軒下など雨水のかかる可能性のある場所へは設置しないでください。



■十分な強度を持った場所に取り付ける。

天井や壁に取り付ける場合、機器の質量に十分耐えられる強度をもった場所に取り付けてください。化粧合板、石膏ボード、プラスターボードなど、材質に強度が足りない場合は、補強材（ベニア合板等）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、落下し、けがをすることがあります。



注意

■機器を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。

■ネジやナットは確実に締め付ける。

取り付けネジやナットで締めつける個所のある機器は、締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので、確実に締め付けてください。

■ガラス材などの天井に取り付ける場合、穴加工によるエッジを保護処理する。

保護処理をしないと、けがをすることがあります。



■イヤホンを付けたまま、電源の“入／切”やプラグの抜き差しをしない。

突然大きな音がでて、聴力障害などの原因となることがあります。

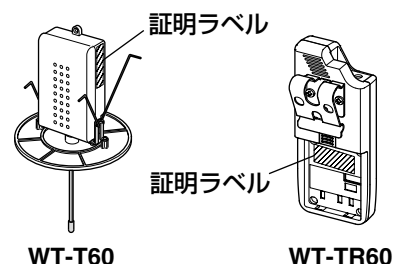
■大音量で長時間つづけて聞かない。

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- はじめてから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

正しくお使いいただくためのご注意

■ 技術基準適合証明ラベルについて

マスタートランシーバー（WT-T60）およびポータブルトランシーバー（WT-TR60）には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。証明ラベルを剥したり、破いたりすると、サービスを受けられないことがありますので、大切に扱ってください。



■ バッテリー（充電式電池）について

- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。高温になる場所（直接日光の当たる場所など）に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- バッテリーの端子部が汚れていると、動作時間が短くなります。
- バッテリーの充放電回数は約 500 回です。これ以下であっても動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われます。新しいものをお買い上げください。

充電について

- バッテリーは十分に放電してから充電してください。十分に放電しないで充電を繰り返すと、バッテリーの容量低下の原因となります。
- 浅い充電、放電を繰り返して容量が低下した場合は、一度十分に放電・充電すれば容量が回復することがあります。
- 使用直後、バッテリーの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。

ご不要になった電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

安全のため、充電式電池の金属部には、セロハンテープなどの絶縁テープを貼ってお持ちください。

■ 日常のお手入れについて

電源を切ってからバッテリーや AC アダプターをはずして、次のようにお手入れしてください。

- 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- ひどい汚れは、水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。



- ベンジンやシンナーは使用しないでください。ボディの損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときは、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。

■ 通話時間について

本システムでの連続通話時間は、法律で 3 分間に定められています。

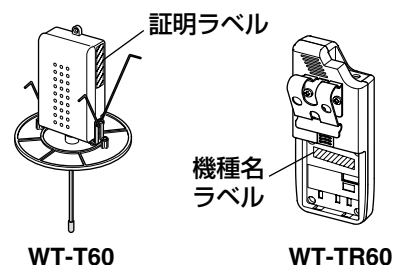
3 分以上通話を続けると、2 秒間通話がとぎれ（プップという音が聞こえます）その後また 3 分間通話がおこなえます。

■ 省エネルギーについて

節電のため、使用しない時はシステムの電源を切ってください。

■ エリア自動切換動作について

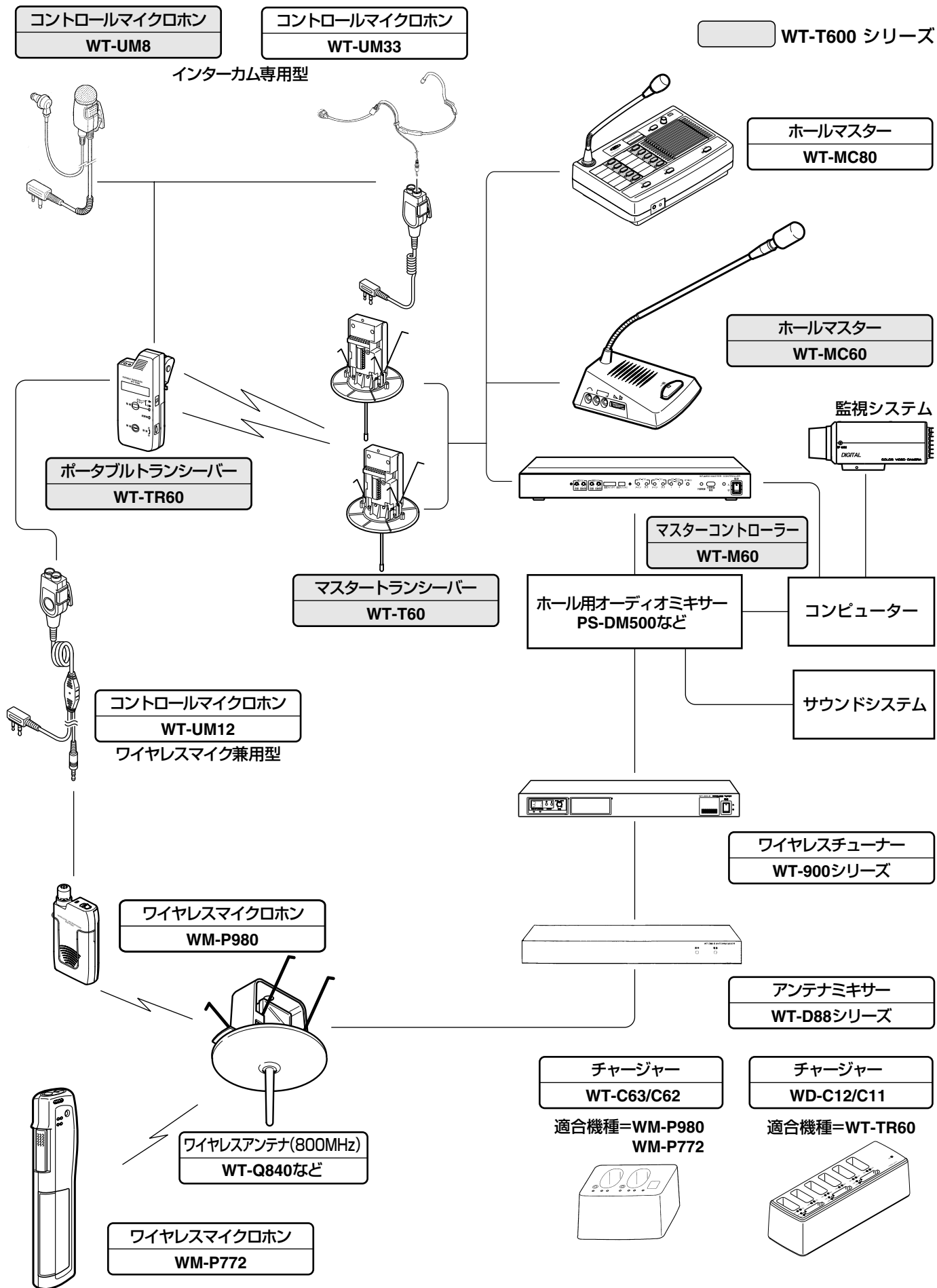
- ポータブルトランシーバー（WT-TR60）のエリア自動切換動作は、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）とマスタートランシーバー（WT-T60）がともに（B）以降のタイプである場合におこなえます。機種名ラベルまたは証明ラベルにて機種名をご確認のうえ、ご使用ください。
- エリア自動切換動作を行うポータブルトランシーバー（WT-TR60）は、エリア自動切換動作中に開始された通話の一部または全部が途切れたり、また、エリア境界付近などで接続に時間がかかる場合があります。



■ ボイススクランブル機能について

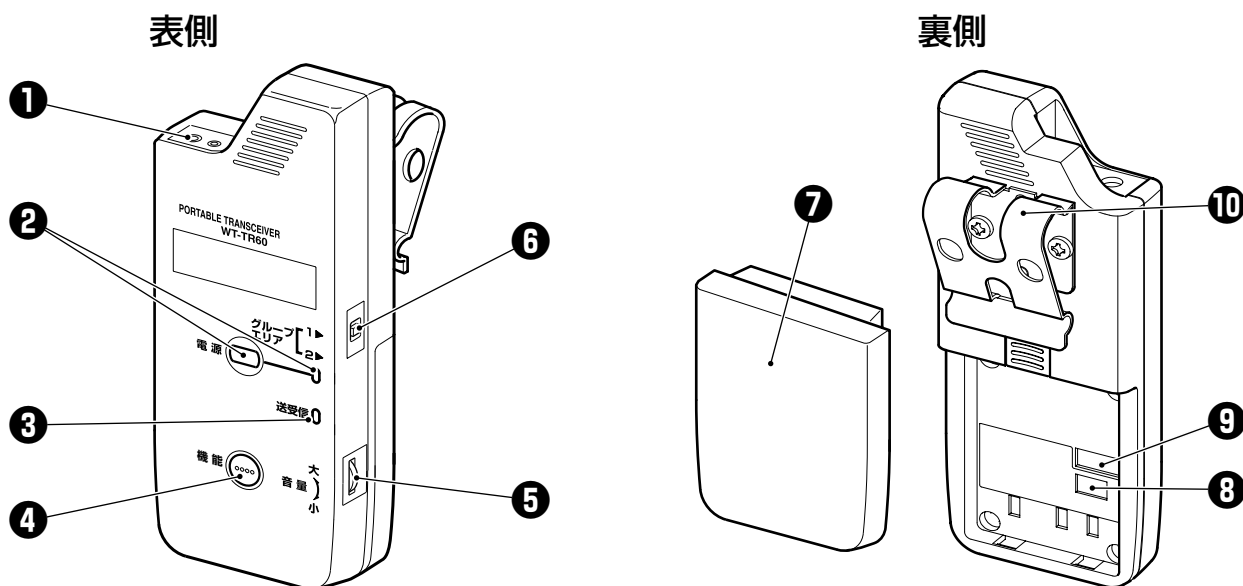
- ボイススクランブル機能は、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）とマスタートランシーバー（WT-T60）がともに（C）以降のタイプである場合に設定できます。機種名ラベルまたは証明ラベルにて機種名をご確認のうえ、ご使用ください。
- ボイススクランブル機能を使用すると、音声信号処理により音質が変化する場合があります。
- 機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。第三者による傍受を完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。

システム構成図



各部のなまえとはたらき

ポータブルトランシーバー (WT-TR60) 子機



① コントロールマイクロホン接続端子

(別売) コントロールマイクロホンをつなぎます。

☞ 12 ページ「お使いになる前の準備」

② [電源] 電源ボタンおよびランプ

電源を入 / 切するボタンです。ボタンを約 1 秒間以上押し続けると、ランプが緑色に点灯し電源が入ります。

ランプは、点滅表示や表示色で状態を表します。

☞ 43 ページ「ランプ表示」

③ [送受信] 送受信ランプ

本機の送受信状態を表示します。

受信中は緑色、送受信中はオレンジ色に点灯します。

☞ 43 ページ「ランプ表示」

④ [機能] 機能ボタン

設定により、このボタンに次の機能をもたせることができます。

- ・子機から一斉指示する (☞ 19 ページ)
- ・子機から子機番号「1」を呼び出す (☞ 20 ページ)
- ・外部機器を制御する (☞ 21 ページ)

⑤ [音量] イヤホン音量つまみ

接続したコントロールマイクロホンのイヤホン音量を調節します。

⑥ [グループ、エリア] グループ／エリア切換スイッチ

グループまたはエリアを切り換えます。このスイッチで切り換えるようにするには設定が必要です。

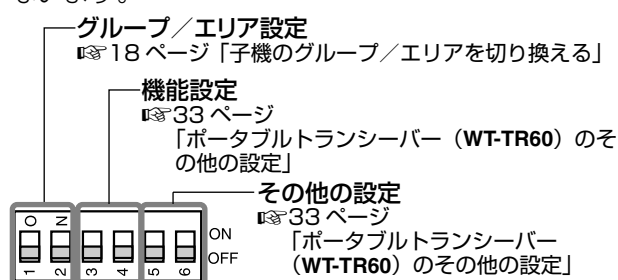
☞ 18 ページ「子機のグループ／エリアを切り換える」

⑦ バッテリー

本機専用のリチウムイオンタイプのバッテリーです。充電は専用チャージャー (WD-C12/C11) でおこなってください。

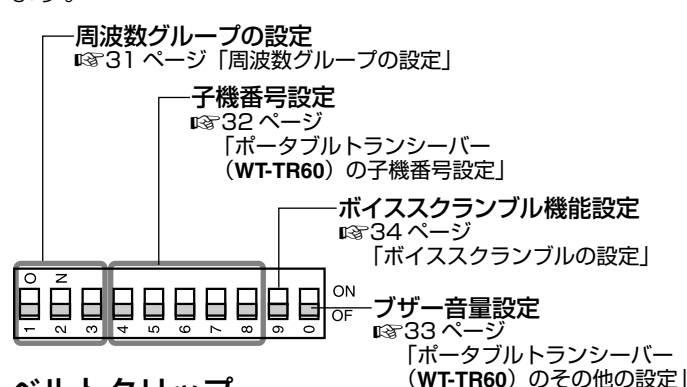
⑧ 設定スイッチ 2

グループ設定、機能設定、モード選択などをおこないます。



⑨ 設定スイッチ 1

周波数グループ、子機番号、ブザー音量を設定します。

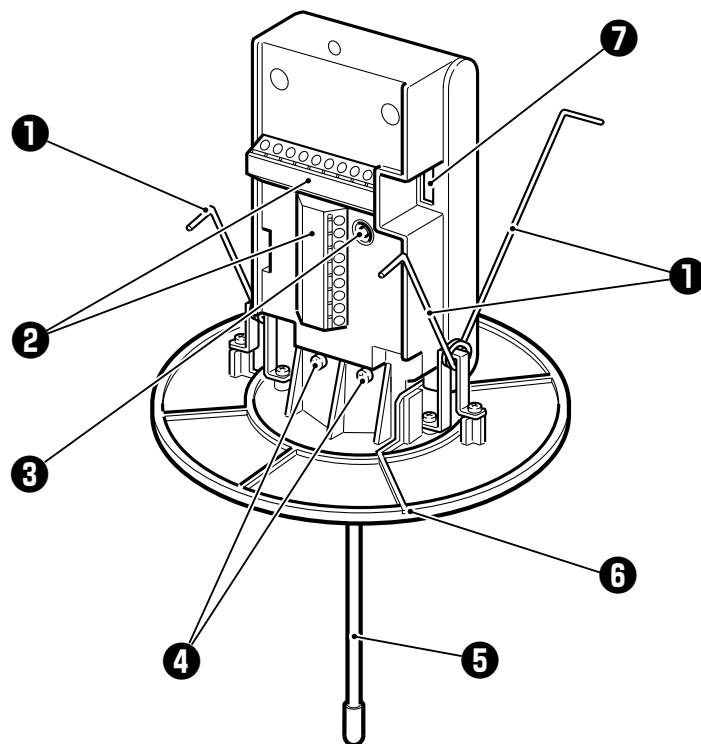


⑩ ベルトクリップ

本機を衣服のベルトなどに装着できます。

各部のなまえとはたらき（つづき）

マスタートランシーバー（WT-T60） 親機



① 取付バネ

本機を天井取付金具（付属品）に付ける時に使用します。

☞ 40 ページ 「マスタートランシーバー（WT-T60）を天井に取り付ける」

② 接続端子

別のマスタートランシーバー（WT-T60）あるいはマスターコントローラー（WT-M60）、ホールマスター（WT-MC60）と接続する時に、使用します。

☞ 36 ページ 「接続」

③ [DC IN 12V] DC12V 電源入力端子

本機をスタンドアローン型で使用する場合、（別売）AC アダプターから電源を入力します。

（AC アダプター：UN110-1210）

AC アダプターについては、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

AC アダプターは必ず上記を使用してください。他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

④ 天井取付カバー固定ネジ

天井取付カバーを本体に取り付けているネジです。

☞ 41 ページ 「マスタートランシーバー（WT-T60）を壁に取り付ける」

⑤ アンテナ

このアンテナで送受信をおこないます。

本機を 2 台以上使用するシステムでは 28 ページを必ず参照してください。

☞ 28 ページ 「マスタートランシーバー（WT-T60）の送受信範囲」

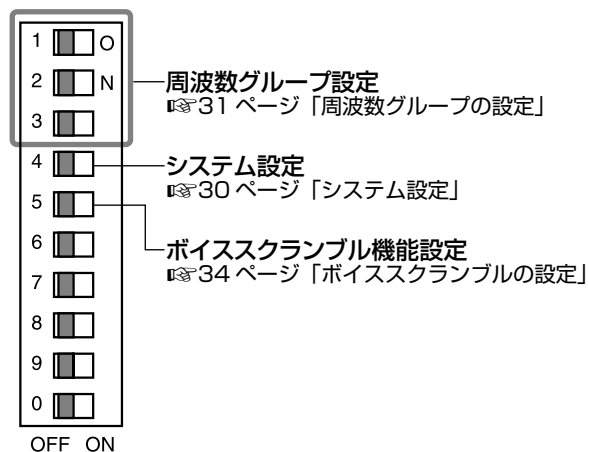
⑥ 動作表示ランプ

正常待ち受け状態では緑色に、子機からの受信中はオレンジ色に点灯します。ランプは点滅表示や表示色で本機の状態を表します。

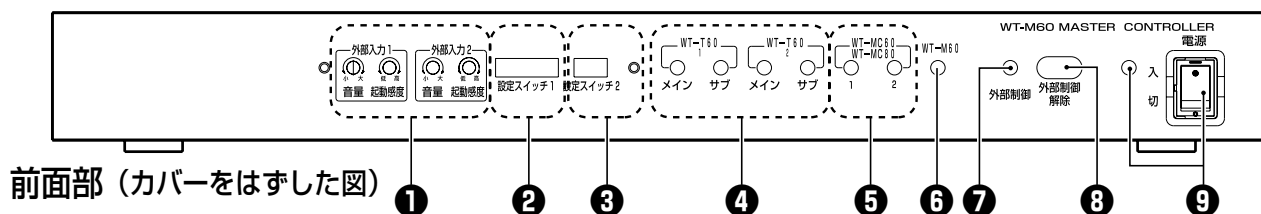
☞ 43 ページ 「ランプ表示」

⑦ 設定スイッチ

周波数グループ、システム構成を設定します。



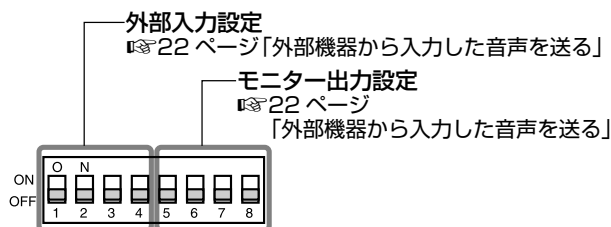
マスターコントローラー (WT-M60) 制御機



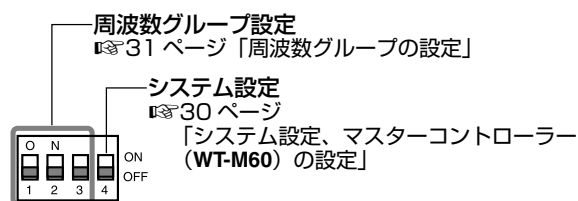
前面部 (カバーをはずした図)

- ① [外部入力 1、2 音量、起動感度] 外部入力 1、2 音量、起動感度調節ボリューム**
 背面部⑬外部制御端子の外部入力 1、2 から入力した音の音量と起動感度を調節します。
 起動感度は、右に回すと感度が高くなり、小さな音量で起動します。
 ㊦22 ページ 「外部機器から入力した音声を送る」

- ② [設定スイッチ 1] 設定スイッチ 1**
 外部入力、モニター出力に関する設定をおこないます。



- ③ [設定スイッチ 2] 設定スイッチ 2**
 周波数グループ、システム設定をおこないます。



- ④ [WT-T60 1、2 メイン、サブ] マスタートランシーバー接続表示ランプ**
 マスタートランシーバー (WT-T60) が背面部⑪端子に接続されているかを表示します。
 点滅や表示色で接続状態を表します。
 ㊦43 ページ 「ランプ表示」

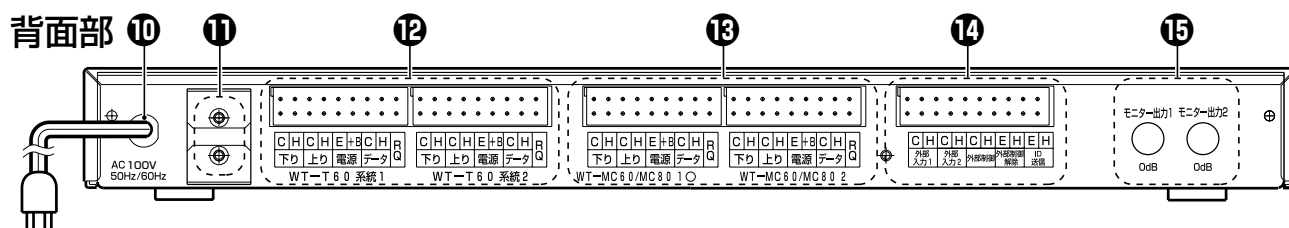
- ⑤ [WT-MC60、WT-MC80] ホールマスター接続表示ランプ**
 ホールマスター (WT-MC60 あるいは WT-MC80) が背面部⑫端子に接続されているか表示します。
 ㊦43 ページ 「ランプ表示」

- ⑥ [WT-M60] マスターコントローラー接続表示ランプ**
 本機の接続状態を表示します。
 ㊦43 ページ 「ランプ表示」

- ⑦ [外部制御] 外部制御ランプ**
 外部制御信号が出力している間、このランプが点灯します。

- ⑧ [外部制御解除] 外部制御解除ボタン**
 外部制御信号出力中に、このボタンを押すと解除され⑦外部制御ランプが消灯します。
 ㊦39 ページ 「マスターコントローラー (WT-M60) の外部入力・外部制御信号」

- ⑨ [電源 入 / 切] 電源スイッチおよびランプ**
 本機に電源が入ると、ランプが緑色に点灯します。



- ⑩ [AC100V 50Hz/60Hz] 電源コード**
 商用 AC100V 電源と接続します。

- ⑪ ワイヤークランプ取付部**
 付属のケーブルタイを取り付けます。
 ㊦38 ページ

- ⑫ [WT-T60 系統 1、2] マスタートランシーバー 1、2 接続端子**
 WT-T60 専用接続端子です。
 指定の機器以外は、接続しないでください。
 ㊦38 ページ「接続、マスターコントローラー (WT-M60) とつなぐ」

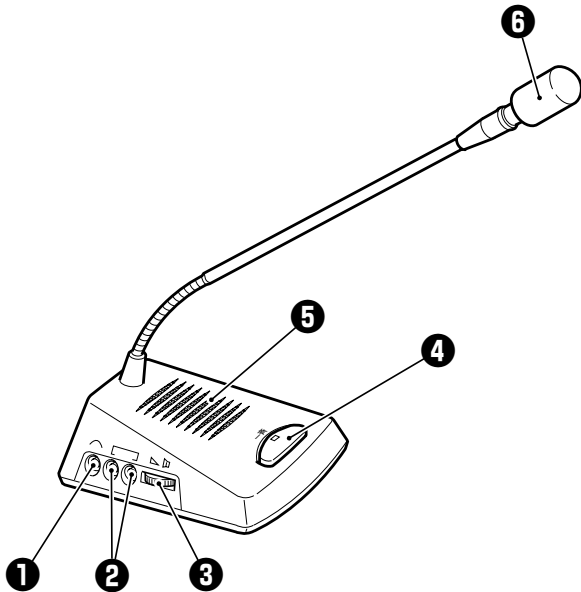
- ⑬ [WT-MC60/MC80 1、2] ホールマスター 1、2 接続端子**
 WT-MC60 または WT-MC80 専用接続端子です。
 指定の機器以外は、接続しないでください。
 ㊦38 ページ「接続、マスターコントローラー (WT-M60) とつなぐ」

- ⑭ 外部制御端子**
 外部起動入力、外部機器制御の端子です。
 ㊦38 ページ「接続、マスターコントローラー (WT-M60) とつなぐ」

- ⑮ [モニター出力 1、2] モニター出力端子**
 ②設定スイッチ 1 で設定したグループの音声信号を出力します。
 パワーアンプなどと接続します。
 電子平衡 OdB、100 Ω、φ 6.3mm

各部のなまえとはたらき (つづき)

ホールマスター (WT-MC60) 操作器



① [マイク音量] マイク音量調節つまみ

⑥マイクの音量を調節します。

② [WT-T60 1、2] WT-T60 接続ランプ

操作器接続型でマスタートランシーバー (WT-T60) が接続されている場合点灯します。

WT-T60-1 は、メイン/エリア 1 が接続されている場合に点灯します。

WT-T60-2 は、サブ/エリア 2 が接続されている場合に点灯します。

③ [▲ ▼] スピーカー音量調節つまみ

⑤スピーカーの音量を調節します。

過度の力で回さないでください。故障の原因となります。

④ [一斉] 一斉ボタン (ランプ付)

操作器から通話するときや、呼び出しに応答するとき、このボタンを押しながら⑥マイクに向かって話します。通話中、ボタンはオレンジ色に点灯します。

☞ 14 ページ「操作器から一斉指示する (通常の業務連絡)」

⑤ スピーカー

モニター音声を出力します。

音量は③スピーカー音量調節つまみで調節します。

ご注意

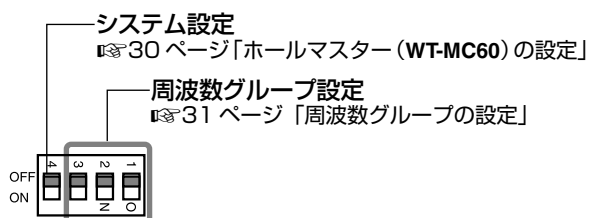
● 音量を最小にした場合も、無音にはなりません。

⑥ マイク

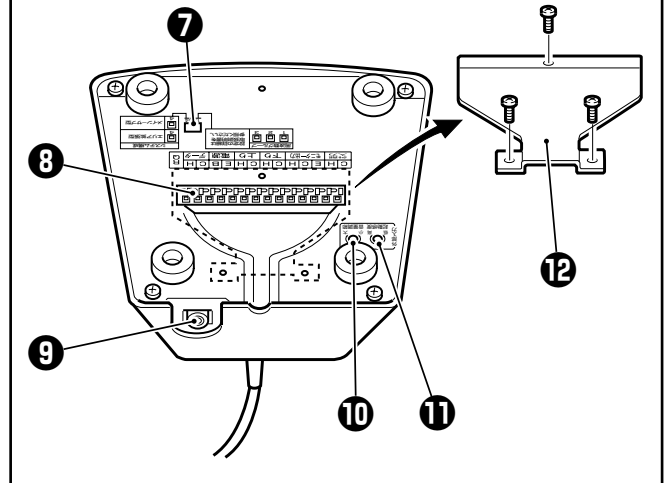
通話するとき、このマイクに向かって話します。

⑦ 設定スイッチ

周波数グループ、システム構成を設定します。



裏面



⑧ 接続端子

マスタートランシーバー (WT-T60) やマスターコントローラー (WT-M60) と接続します。

☞ 37、38 ページ「接続」

⑨ [DC IN 12V] DC12V 電源入力端子

操作器接続型で運用時、(別売) AC アダプターから DC12V 電源を入力します。

(AC アダプター: UN110-1210)

AC アダプターについては、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

AC アダプターは必ず上記を使用してください。

他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

⑩ [音量調節] 外部入力音量調節ボリューム

外部入力端子から入力した音量を調節します。

☞ 22 ページ「外部機器から入力した音声を送る」

WT-M60 と接続した時は機能しません。

⑪ [起動感度] 外部入力起動感度調節ボリューム

外部入力端子から入力した音量の感度を調節します。

☞ 22 ページ「外部機器から入力した音声を送る」

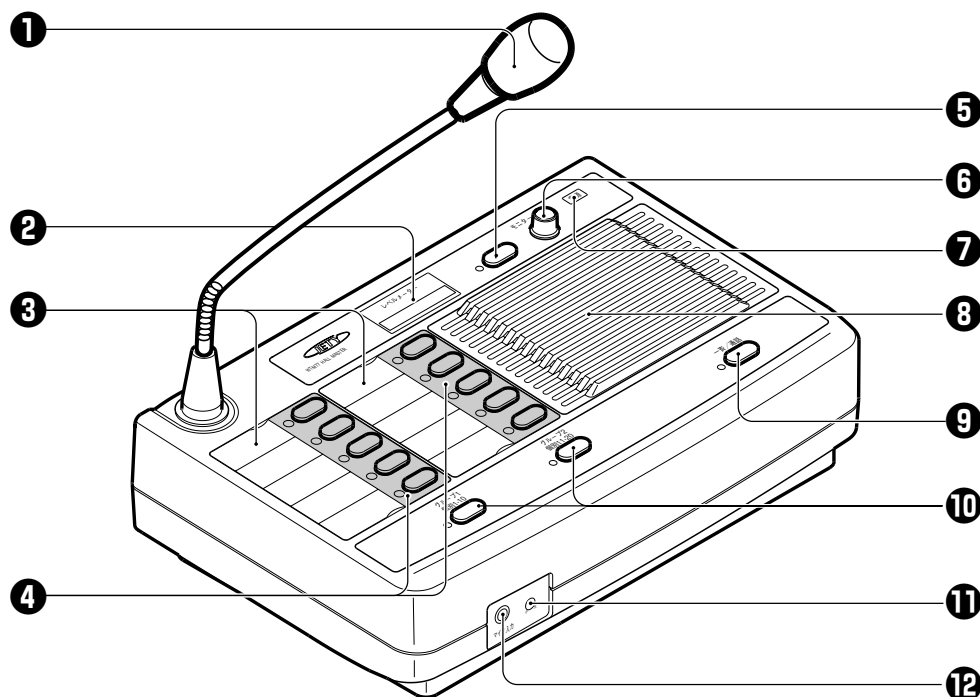
WT-M60 と接続した時は機能しません。

⑫ ホルダー (付属品)

ケーブルをつないだ後、ホルダーを取り付けます。

ケーブルが抜けないように、ケーブルとホルダーをワイヤークランプ (付属品) で固定します。

ホールマスター (WT-MC80) 操作器



① マイク

通話をするときに、このマイクに向かって話します。

② レベルメーター

モニター中はスピーカーへの入力レベル、通話中はマイク音量レベルを表示します。

③ ネームカード

個別ボタンに登録した個人名などを記入します。

④ 個別ボタン・ランプ

登録してある人と、個別に通話をするときに、このボタンを押します。このとき、ランプが点灯します。

⑤ 機能ボタン [赤] およびランプ

マスターコントローラー (WT-M60) と接続してこのボタンを押すと、外部制御がおこなえます。「緊急」表示の上に、マスターコントローラー (WT-M60) に付属の「外部制御」シールをはり付けてお使いください。

⑥ モニター音量つまみ

スピーカーから出るモニター音声の音量を調節します。

⑦ 電源ランプ

電源が供給されるとランプが点灯します。

⑧ スピーカー

モニター音声を出力します。

⑨ 一斉／通話ボタン [黄] およびランプ

操作器から通話するときや、呼び出しに応答するとき、このボタンを押します。
ランプは、通話するときに点灯します。

⑩ 個別／グループ通話ボタン [青／緑] およびランプ

個別呼び出しをするとき、このボタンを押しながら話します。

(No.1 ～ 10 は青いボタン)
(No.11 ～ 20 は緑のボタン)

グループモード時で、グループ別の一斉指示をするときにも、このボタンを押します。

※グループ運用で使用するためには、システムの設定が必要です。システムの設定状態については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⑪ マイク音量調節

本機のマイクあるいは⑫マイク入力端子に接続したマイクの音量を調節します。

⑫ マイク入力端子(不平衡－46dBs 10kΩ)

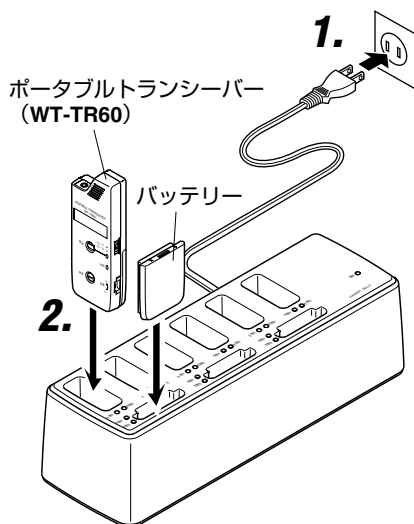
市販のマイクが接続できます。マイク接続時は操作器のマイクは使用できません。

マイクは、ミニプラグ (φ 3.5) をご使用ください。

お使いになる前の準備

充電する

子機を別売のチャージャー（WD-C12/C11）で充電します。バッテリー単体で充電することもできます。詳細はチャージャー（WD-C12/C11）の「取扱説明書」をご覧ください。



1. 電源コードをコンセントにつなぐ

2. ポータブルトランシーバー、バッテリーを差し込む

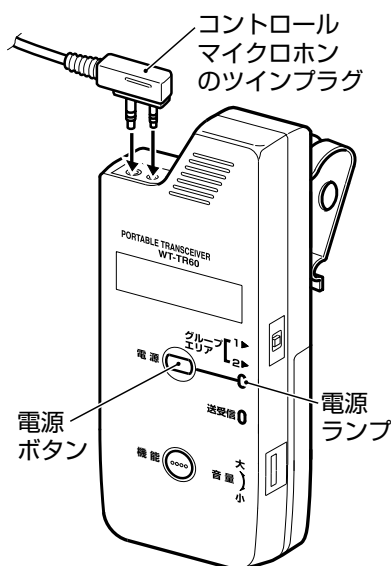
充電中ランプ（赤）が点灯し、充電を開始します。充電完了ランプ（緑）が点灯したら充電完了です。（約 4 時間）

ご注意

- 充電は、ポータブルトランシーバーの電源を“切”にしておこなってください。
- 充電するときは、コントロールマイクロホンのケーブルを巻き付けた状態でおこなわないでください。ケーブル断線の原因となります。
- 充電ランプ（赤）が点滅するときは、もう一度差し込みなおしてください。それでも点滅している場合は、充電端子を綿棒などで清掃してください。

電源を入れる

コントロールマイクロホンを接続し、電源を入れます。



1. 電源の“切”を確認する

2. コントロールマイクロホンを接続する

- プラグは奥までまっすぐ差し込んでください。

3. 電源ボタンを“1 秒以上”押しつづける

- 電源ランプが緑色に点灯します。
- 電源を切る場合も、電源ボタンを“1 秒以上”押しつづけてください。

ご注意

- プラグの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。雑音や誤動作の原因となる事があります。
- 接続するときは、ツインプラグを最後まで挿入してください。使用中に通話できなくなったり、プラグが抜けたりします。雑音発生の原因となることがあります。
- コントロールマイクを抜くときは、コードを引っ張らないでください。断線の原因となります。必ずツインプラグを持って抜いてください。
- ツインプラグの金属部を手でさわったりしないでください。接触不良の原因となります。汚れた場合は、乾いたきれいな布などでふき取ってください。

子機から操作器や他の子機を呼び出す

操作できるシステム (☎ 24 ~ 27 ページ)

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	○	○	○
デュアルマスター	○	○	○	○
2エリア	—	○	○	○

(○：可、×：不可)

子機から操作器や他の子機を呼び出して、話すこと（通話）ができます。

通話中、通話相手以外にも同一グループの子機には会話の内容は聞こえています。

1. マイクの TALK ボタンを押しつつける

- イヤホンから「プー」という音が聞こえます。

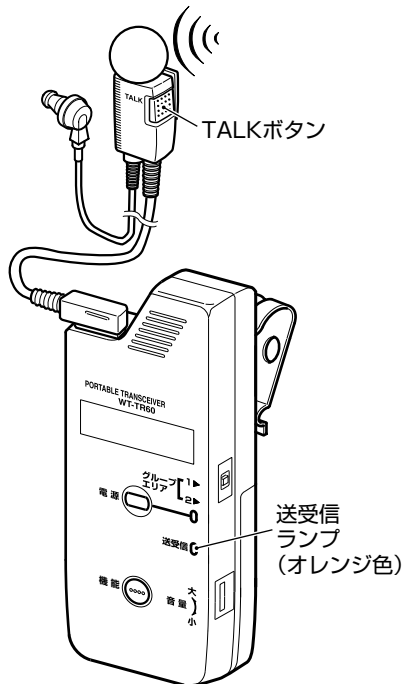
2. 「プー」という音が止まったら TALK ボタンを押したまま、マイクに向かって話す（口もとから 1cm ~ 2cm）

☎ 17 ページ「応答する／通話に参加する」

- 通話中、送受信ランプはオレンジ色に点灯します。
- 同一グループ内の他の子機では、会話が聞こえ送受信ランプが緑色に点灯します。
- 他のグループの子機では、会話は聞こえず送受信ランプも点灯しません。

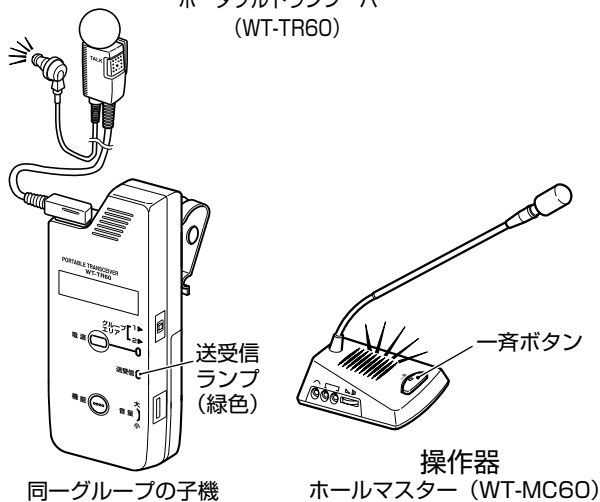
3. 話し終わったら TALK ボタンを離す

- 送受信ランプは消灯します。



子機

ポータブルトランシーバー
(WT-TR60)



同一グループの子機

操作器
ホールマスター (WT-MC60)



- 「プー、ピ、プ、ピ、プ・・・」あるいは「ピ、プ、ピ、プ・・・」という音が聞こえた場合は、下記環境で使用していることが予想されます。しばらく時間をおいて、手順 1. からもう一度おこなってください。
 - 自分が通話圏外にいる。
 - 通話圏内にいるが、チャンネルが全て使用されている。
 - 個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話している。
- 制御部接続型のグループ運用では、マスターコントローラー (WT-M60) の背面部 WT-MC60/MC80 1 端子に接続されている操作器は、グループ 1 の会話聞こえます。同様に WT-MC60/MC80 2 端子に接続されている操作器は、グループ 2 の会話聞こえます。



- グループ運用で使用するためには、システムの設定変更が必要です。(☎ 30 ページ)
設定変更は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

操作器から一斉指示する（通常の業務連絡）

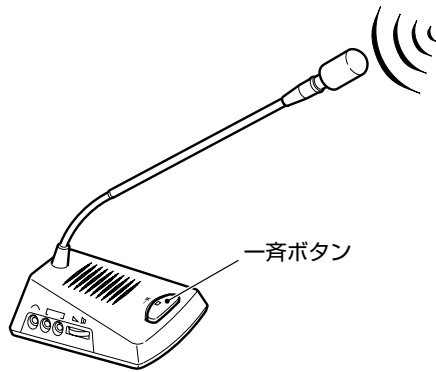
操作できるシステム（☎ 24 ～ 27 ページ）

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	○	○	×
デュアルマスター	○	○	○	×
2エリア	—	○	○	×

（○：可、×：不可）

操作器からすべての子機に一斉に指示をすることができます

- 応答した相手とは、電話のように会話できます。
- 通話中、通話相手以外にも会話の内容は聞こえています。



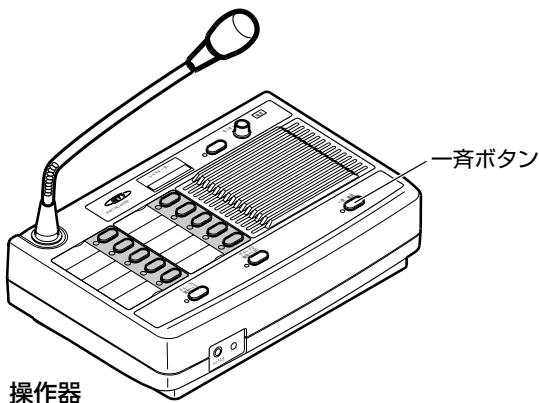
操作器
ホールマスター（WT-MC60）

1. 一斉ボタンを押しつづける

- スピーカーから「プッ」という音が聞こえます。
- 一斉ボタンランプがオレンジ色に点灯します。
（WT-MC80 の場合、一斉ボタンランプは緑色に点灯します）
- 「ピー」という音が出て一斉通話ができます。

2. 一斉ボタンを押したまま、マイクに向かって話す（口もとから 2cm ～ 3cm）

- 子機のイヤホンで連絡が聞こえます。この時、子機の送受信ランプは緑色に点灯します。



操作器
ホールマスター（制御部接続型）
（WT-MC80）（時のみ）

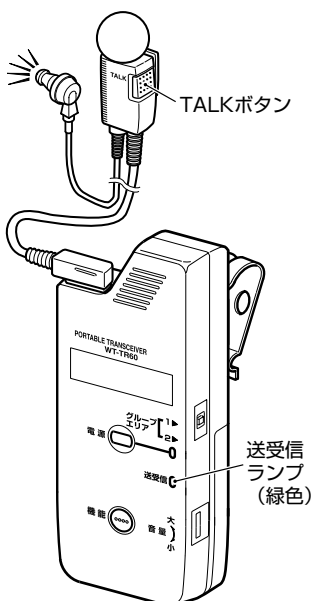
3. 話し終わったら、一斉ボタンを離す

- 一斉ボタンランプの点灯が緑色にもどります。
- 「ブ、ブ」という音が聞こえ、一斉通話が終了します。

☎ 17 ページ「応答する／通話に参加する」



- 「ピ、ブ、ピ、ブ・・・」という音が聞こえた場合は、個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話していることが予想されます。しばらく時間をおいて、手順 1. からもう一度おこなってください。
- 新たな一斉指示の時は、イヤホンから「ピー」という音が聞こえます。
- 一度一斉指示が開始されると、全ての人が話し終え、かつ外部機器からの音声が増加するまで一斉指示は継続します。
- 一斉指示終了時に、「ブ、ブ」という音が聞こえます。
- 操作器接続型、または制御部接続型でグループ分けをしないシステムの場合、操作はおこなえますが、イヤホンから一斉開始時の「ピー」または一斉終了時の「ブ、ブ」という音は聞こえません。



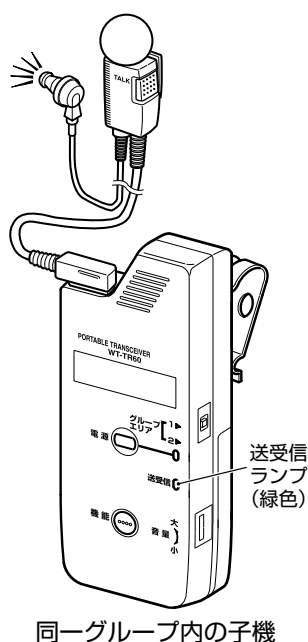
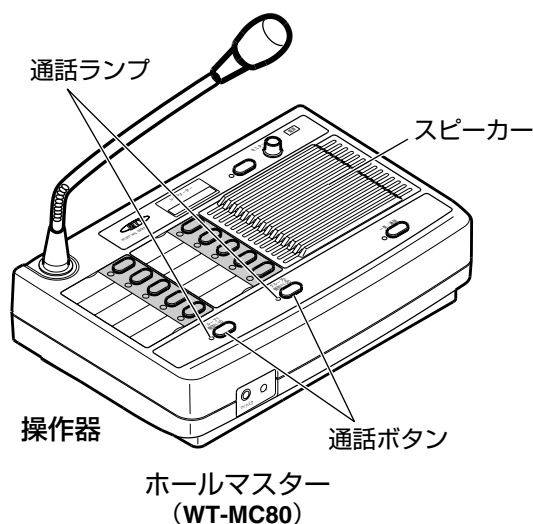
すべての子機
ポータブルトランシーバー（WT-TR60）

操作器 (WT-MC80) からグループ別に一齐指示する

操作できるシステム (☞ 24 ~ 27 ページ)

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	×	×	×
デュアルマスター	○	×	×	×
2エリア	—	×	×	×

(○:可、×:不可)



操作器として WT-MC80 を使用した場合は、グループごとに業務連絡や一齐指示を出すことができます。

- 応答した相手とは、電話のように会話できます。
- 同一グループ内の子機や操作器には話しの内容が聞こえますが、他のグループには聞こえません。

1. 連絡したいグループの通話ボタンを押す

- スピーカーから「プッ」という音が聞こえます。
- 選択グループの通話ランプが点灯します。
- 選択グループの通話が聞こえます。

2. 通話ボタンを押したまま、マイクに向かって話す (口もとから 2cm ~ 3cm)

☞ 17 ページ「応答する / 通話に参加する」

- 選択グループ内子機のイヤホンから連絡が聞こえます。この時、子機の送受信ランプは緑色に点灯します。
- 他のグループの子機では、会話は聞こえず、送受信ランプも点灯しません。

3. 話し終わったら、通話ボタンをはなす

- 通話ランプは消灯します。



- 「ピ、ブ、ピ、ブ・・・」という音が聞こえた場合は、下記環境で使用していることが予想されます。しばらく時間をおいて、手順 1. からもう一度おこなってください。
 - 一齐通話がおこなわれている。
 - 個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話している。
- 制御部接続型のグループ運用では、マスターコントローラー (WT-M60) の背面部 WT-MC60 1 端子に接続されている操作器は、グループ 1 の会話が聞こえます。同様に WT-MC60 2 端子に接続されている操作器はグループ 2 の会話が聞こえます。



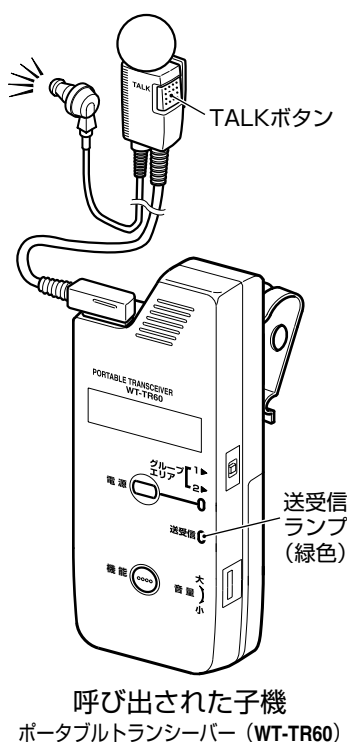
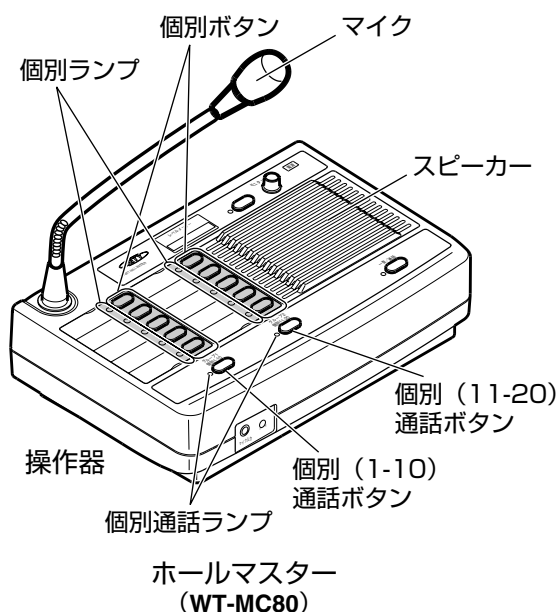
- グループ運用で使用するためには、システムの設定変更が必要です。(☞ 30 ページ)
設定変更は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

操作器（WT-MC80）から個別呼び出しする

操作できるシステム（☞ 24 ～ 27 ページ）

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	×	×	×
デュアルマスター	○	×	×	×
2エリア	—	×	×	×

（○：可、×：不可）



操作器として WT-MC80 を使用した場合は、あらかじめ登録した子機（最大 20 台）の中から特定の 1 台に連絡することができます。

登録（☞ 32 ページ「ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の子機番号設定」）

- 応答した相手とは、電話のように会話できます。
- 通話中、通話相手以外には会話の内容は聞こえません。

1. 連絡したい相手の個別ボタンを押す

- 個別ランプが点灯します。
- 個別通話ランプ 2 個が点滅します。（約 3 秒間）

2. 個別通話ランプの点滅中に、相手の番号に合わせて個別通話ボタンを押し続ける

（相手番号が 1 ～ 10 なら個別（1-10）通話ボタン [青]、相手番号が 11 ～ 20 なら個別（11-20）通話ボタン [緑] を押します。）

- スピーカーから「プー」という音が聞こえます。
- 選択した個別通話ボタンが点灯し、選択しなかったボタンは消灯します。

3. 個別通話ボタンを押したまま、マイクに向かって話す（口もとから 2cm ～ 3cm）

☞ 17 ページ「応答する / 通話に参加する」

- 呼び出された子機のイヤホンから「プッ」という音に続いて、操作器の音が聞こえます。この時、送受信ランプは緑色に点灯します。マイクの TALK ボタンを押したまま、マイクに向かって話します。
- 通話中、他の子機では会話を聞くことはできません。（他の子機に接続されたマイクの TALK ボタンを押すと、「ピ、プ、ピ、プ・・・」という音が聞こえます。）

4. 話し終わったら、個別通話ボタンを離す

- 個別通話ランプが消灯します。



● スピーカーから「プー、ピ、プ、ピ、プ・・・」という音が聞こえた場合、呼び出そうとした子機がエリアの外にいるか、電源が切れている場合です。

応答する／通話に参加する

他の子機からの呼び出しや操作器から一斉指示に応答し、電話のように会話ができます。また通話にも参加できます。

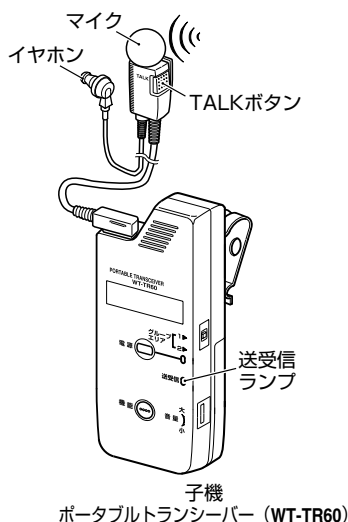
- 応答した相手とは、電話のように会話ができます。通話中、通話相手以外にも会話の内容は聞こえます。
- グループ別の一斉指示の場合、他のグループの子機には、話しの内容は聞こえません。

子機で応答する／子機で通話に参加する

操作できるシステム (24～27 ページ)

接続型 仕様	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	×	×	×
デュアルマスター	○	○	○
2エリア	—	×	×

(○：可、×：不可)



子機
ポータブルトランシーバー (WT-TR60)

他の子機からの呼び出しや操作器からの一斉指示が聞こえたら

1. マイクの TALK ボタンを押す

- イヤホンから「プー」という音が聞こえます。

2. 「プー」という音が止まったら TALK ボタンを押したまま、マイクに向かって話す (口もとから 1cm～2cm)

- 送受信ランプがオレンジ色に点灯します。

3. 話し終わったら TALK ボタンを離す

- 送受信ランプは消灯します。



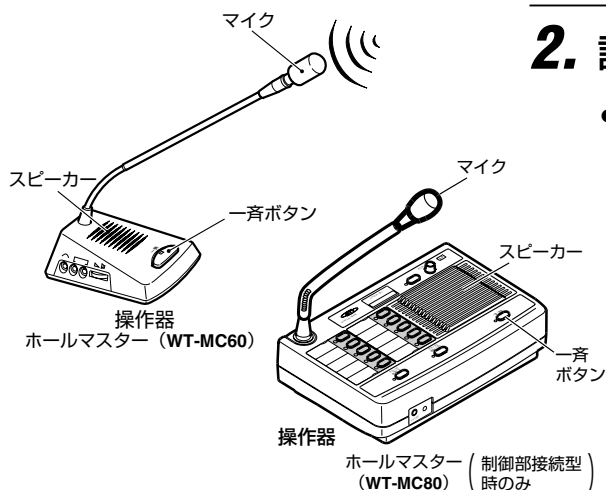
「プー、ピ、プ、ピ、プ…」あるいは「ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえた場合、通話圏内にいるが、チャンネルが全て使用されています。しばらく時間をおいて、手順 1. からもう一度おこなってください。

操作器で応答する／操作器で通話に参加する

操作できるシステム (24～27 ページ)

接続型 仕様	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	○	×
デュアルマスター	○	○	×
2エリア	—	○	×

(○：可、×：不可)



スピーカーから子機の呼び出しが聞こえたら

1. 一斉ボタンを押しながら、マイクに向かって話す (口もとから 2cm～3cm)

- 一斉ボタンランプがオレンジ色に点灯します。

2. 話し終わったら、一斉ボタンを離す

- 一斉ボタンランプの点灯が緑色にもどります

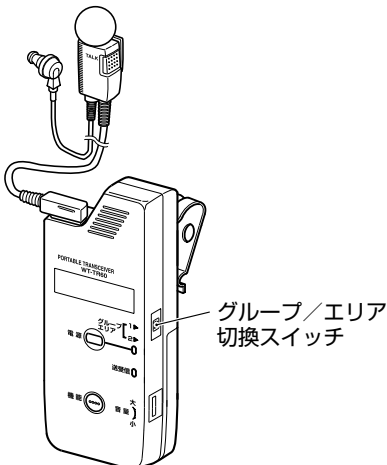
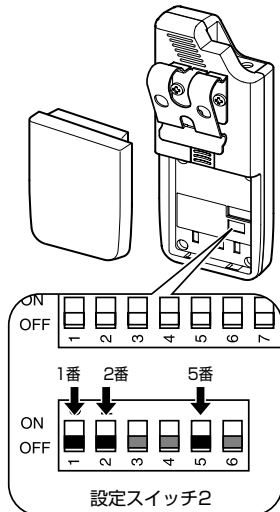


● 子機の会話が聞こえていても、一斉ボタンを押さないと操作器からの声は聞こえません。
● グループ運用ありの場合も、一斉ボタンで応答すると、一斉通話になります。

子機のグループ／エリアを切り換える

グループ／エリアを手動で切り換える

子機は、工場出荷時グループ 1/ エリア 1 のみで使用できる設定になっています。グループ 2/ エリア 2 で使用する場合、またはグループ 1/ エリア 1 と、グループ 2/ エリア 2 を手動で切り換えて使用する場合は、バッテリーをはずし設定スイッチ 2 を変更します。
＜設定変更は、電源を切ってからおこなってください。＞



子機
ポータブルトランシーバー (WT-TR60)

■ グループ／エリアの設定は、設定スイッチ 2 の 5 番を OFF（エリア自動切換動作なし）に設定して、さらに用途に応じて、1 番、2 番の設定をおこないます。

	1 番	2 番
	グループ／エリア設定	内部・外部設定
ON	グループ 2/ エリア 2	子機側面の“グループ／エリア 切換スイッチ”で切り換えます。
OFF	グループ 1/ エリア 1	子機内部の“設定スイッチ 2 の 1 番”で切り換えます。

（工場出荷時は、全て OFF に設定）

グループ 1／エリア 1 固定で使用する

グループ 1/ エリア 1 のみで使用する場合の設定

- 1 番を OFF（グループ 1/ エリア 1）
- 2 番を OFF（内部）

グループ 2／エリア 2 固定で使用する

グループ 2/ エリア 2 のみで使用する場合の設定

- 1 番を ON（グループ 2/ エリア 2）
- 2 番を OFF（内部）

エリア 1 とエリア 2 を手動で切り換える

子機を持って、エリアを移動する場合、子機側面のグループエリア切換スイッチでエリア切り換えがおこなえるよう設定します。

- 1 番はどちらでも可（2 番を ON に設定すると 1 番は無効となります）
- 2 番を ON（外部）

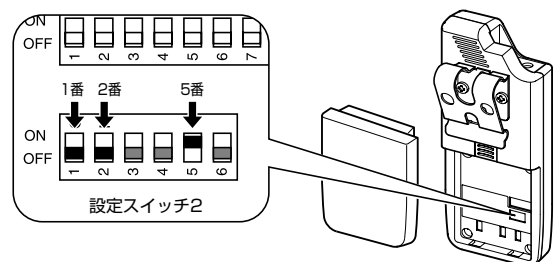
エリアを自動で切り換える

（B）以降のタイプの子機で行えます。

■ 33 ページ「ポータブルトランシーバー (WT-TR60) のその他の設定」

エリアを自動で切り換えるには、設定スイッチ 2 の 5 番を ON（エリア自動切換動作あり）に設定します。

＜設定変更は、電源を切ってからおこなってください＞



ご注意

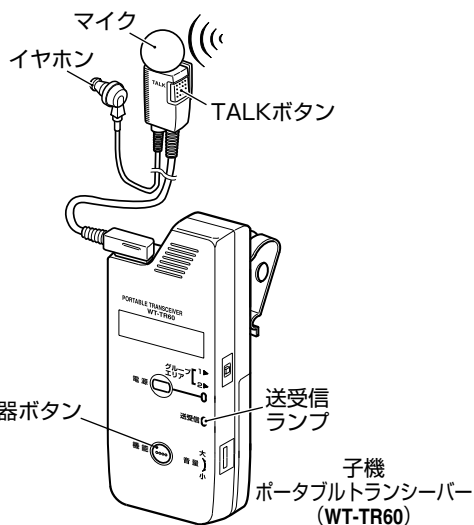
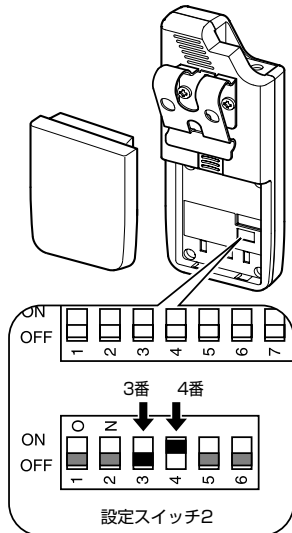
- エリア自動切換は、子機の電源を投入した時の設定（設定スイッチ 2 の 1 番、2 番またはグループ／エリア切換えスイッチ）が優先され自動切換動作をおこないます。
2 つのエリアが重複する設置環境の場合、エリア自動切換が有効に働かない場合があります。
- エリア自動切り換え動作は、ポータブルトランシーバー (WT-TR60) とマスタートランシーバー (WT-T60) がともに（B）以降のタイプである場合におこなえます。
- システム構成が制御部接続型 1 エリア 2 グループの場合は、「エリア自動切換動作なし」に設定してご使用ください。システム構成については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

子機から一斉指示する

操作できるシステム (☞ 24 ~ 27 ページ)

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	○	○	○
デュアルマスター	○	○	○	○
2エリア	—	○	○	○

(○：可、×：不可)



グループ運用時、子機の機能ボタンで他の子機へ、一斉指示することができます。

- 応答した相手とは、電話のように会話できます。
- 通話中、通話相手以外にも会話の内容は聞こえています。

初めて使う場合は、電源を切ってからバッテリーをはずし、設定スイッチ 2 の 3 番を OFF、4 番を ON にする

1. 機能ボタンを押す

- 電源ランプがオレンジ色に点灯します。
- イヤホンから「ピッ、ピッ、・・・」という音が約 1 秒ごとに聞こえます。

2. マイクの TALK ボタンを押しつつける

- イヤホンから「ブー」という音が聞こえます。

3. 「ブー」という音が止まったら TALK ボタンを押したまま、マイクに向かって話す (口もとから 1cm ~ 2cm)

☞ 17 ページ「応答する / 通話に参加する」

- 通話中、送受信ランプはオレンジ色に点灯します。
- 他の子機では会話聞こえ送受信ランプが緑色に点灯します。

4. 話し終わったら TALK ボタンを離す

- 送受信ランプは消灯します。

メモ

- 「ブー、ピ、ピ、ピ、ピ、ピ・・・」あるいは「ピ、ピ、ピ、ピ、ピ・・・」という音が聞こえた場合は、下記環境で使用していることが予想されます。しばらく時間をおいて、手順 1. からもう一度おこなってください。
 - 自分が通話圏外にいる。
 - 通話圏内にいるが、チャンネルが全て使用されている。
 - 個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話している。
- 新たな一斉指示の時は、イヤホンから「ピー」という音が聞こえます。
- 一度一斉指示が開始されると、全ての人が話し終え、かつ外部機器からの音声停止するまで一斉指示は続きます。
- 一斉指示終了時に、「プ、プ」という音が聞こえます。
- 操作器接続型、スタンドアローン型、または制御部接続型でグループ分けをしないシステムの場合、操作はおこなえますが、イヤホンから一斉開始時の「ピー」または一斉終了時の「プ、プ」という音は聞こえません。

ご注意

- グループ運用で使用するためには、システムの設定変更が必要です。(☞ 30 ページ)
設定変更は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

操作

子機から子機番号「1」を呼び出す

操作できるシステム (☎ 24 ~ 27 ページ)

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	×	×	×	×
デュアルマスター	○	○	○	○
2エリア	—	×	×	×

(○：可、×：不可)

子機の機能ボタンで、あらかじめ子機番号が「1」に設定されている子機を持つ人を、呼び出すことができます。

●通話中、通話相手以外に会話の内容は聞こえません。
子機番号の設定 ☎ 32 ページ「ポータブルトランシーバー (WT-TR60) の子機番号設定」

この機能を初めて使う場合は、電源を切ってからバッテリーをはずし、設定スイッチ2の3番をON、4番をONに設定する

1. 機能ボタンを押す

- 電源ランプがオレンジ色に点灯します。
- イヤホンから「ブッ、ブッ、・・・」という音が約1秒ごとに聞こえます。

2. マイクのTALKボタンを押しつづける

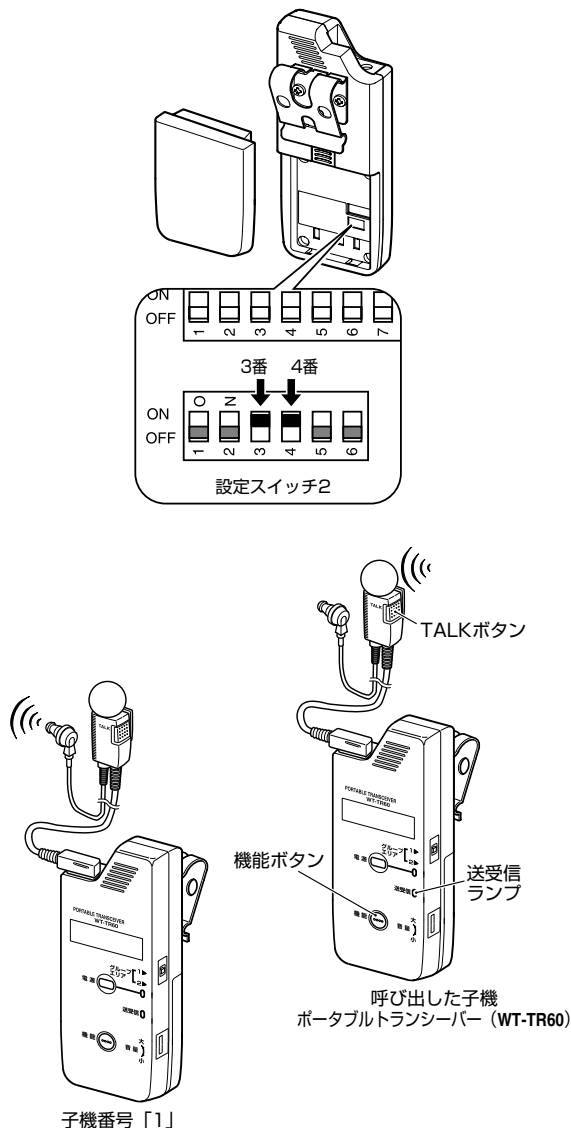
- イヤホンから「プー」という音が聞こえます。

3. 「プー」という音が止まったらTALKボタンを押したまま、マイクに向かって話す (口もとから1cm ~ 2cm)

- 通話中、送受信ランプはオレンジ色に点灯します。
- 呼び出された子機番号「1」では会話聞こえ送受信ランプが緑色に点灯します。マイクのTALKボタンを押したまま、マイクに向かって話します。
- 他の子機では、会話は聞こえず送受信ランプも点灯しません。

4. 話し終わったらTALKボタンを離す

- 送受信ランプは消灯します。



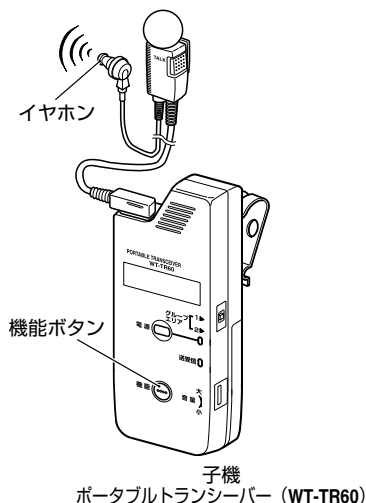
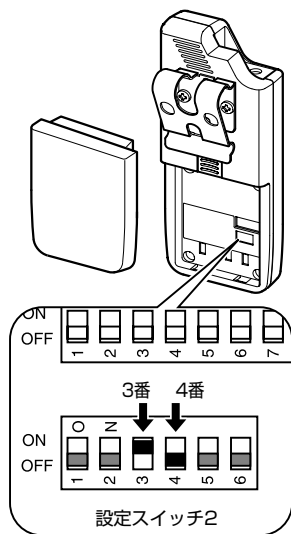
- 「プー、ピ、ブ、ピ、ブ・・・」あるいは「ピ、ブ、ピ、ブ・・・」という音が聞こえた場合は、下記環境で使用していることが予想されます。しばらく時間をおいて、手順 **1.** からもう一度おこなってください。
- 自分が通話圏外にいる。
 - 通話圏内にいるが、チャンネルが全て使用されている。
 - 個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話している。

外部機器を制御する

操作できるシステム (☞ 24 ~ 27 ページ)

仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	×	×	×
デュアルマスター	○	×	×	×
2エリア	—	×	×	×

(○：可、×：不可)



子機の機能ボタン、操作器 (WT-MC80) の外部制御ボタンで外部機器を制御できます。

子機の機能ボタンで外部制御する

この機能を初めて使う場合は、電源を切ってからバッテリーをはずし、設定スイッチ2の3番をON、4番をOFFに設定する

1. 機能ボタンを押す

- 外部制御状態となりマスターコントローラー (WT-M60) 前面部の外部制御ランプが点灯し、背面部の外部制御端子から信号が出力されます。
(☞ 39 ページ「接続、マスターコントローラー (WT-M60) の外部入力・外部制御信号」)
- イヤホンから「ブー、ブッ、ブッ」という音が聞こえます。

2. 解除するにはマスターコントローラー (WT-M60) の前面部の外部制御解除ボタンを押す

- 外部制御ランプは消灯し、信号出力も止まります。

操作器 (WT-MC80) の外部制御ボタンで外部制御する

1. 外部制御ボタンを押す

- 外部制御状態となりマスターコントローラー (WT-M60) の前面部外部制御ランプが点灯し、背面部の外部制御端子から信号が出力されます。
(☞ 39 ページ「接続、マスターコントローラー (WT-M60) の外部入力・外部制御信号」)
- スピーカーから「ブー」という音のあとに、「ブッ、ブッ」という音が聞こえます。

2. 解除するにはマスターコントローラー (WT-M60) の前面部の外部制御解除ボタンを押す

- 外部制御ランプは消灯し、信号出力も止まります。



- 「ブー、ブッ、ブッ、ブッ」という音が聞こえた場合は、下記環境で使用していることが予想されます。しばらく時間を置いて、手順 1. からもう一度おこなってください。
 - 自分が通話圏外にいる。
 - 通話圏内にいるが、チャンネルが全て使用されている。
 - 個別通話で他の子機と操作器、または他の子機どうしが会話している。

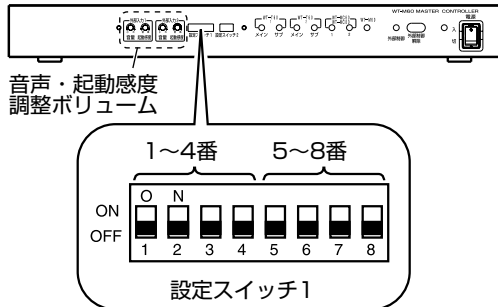
外部機器から入力した音声を送る

操作できるシステム (P.24 ~ 27 ページ)

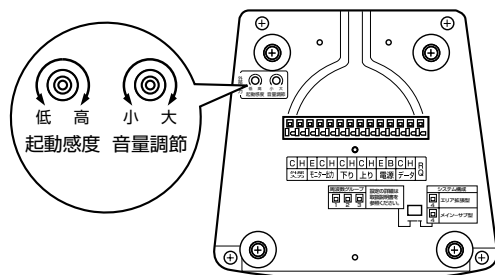
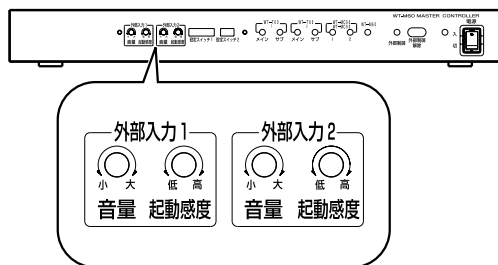
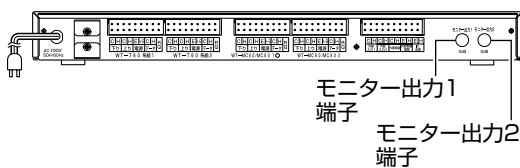
仕様	接続型	制御部 接続型	操作器 接続型	スタンド アローン型
シングルマスター	○	○	○	×
デュアルマスター	○	○	○	×
2エリア	—	○	○	×

(○：可、×：不可)

システムコントローラー (WT-M60)



マスターコントローラー (WT-M60)



ホールマスター (WT-MC60) またはマスターコントローラー (WT-M60) の外部入力端子に入力した音声をすべての親機、子機に送ることができます。また背面部モニター出力端子に送ることもできます。ホールコンピューターからの音声を送るときに設定します。

マスターコントローラー (WT-M60) の設定

■ 設定スイッチ 1 の 1 ~ 4 番で、音声を入力する外部入力端子の選択と出力するグループの選択をおこないます。

番号	状態	機 能
1	ON	外部入力1の音声をグループ1に出力します
	OFF	外部入力1の音声をグループ1に出力しません
2	ON	外部入力1の音声をグループ2に出力します
	OFF	外部入力1の音声をグループ2に出力しません
3	ON	外部入力2の音声をグループ1に出力します
	OFF	外部入力2の音声をグループ1に出力しません
4	ON	外部入力2の音声をグループ2に出力します
	OFF	外部入力2の音声をグループ2に出力しません

■ 入力音声の音量と起動感度の調節

音 量 : 右に回すと出力音声が大きく、左に回すと小さくなります

起動感度 : 右に回すと感度が高くなり、小さな音量で起動します
出力音声を確認しながら調節してください

■ 設定スイッチ 1 の 5 ~ 8 番で、音声を出力するモニター出力端子の選択と、出力するグループの選択をおこないます。

番号	状態	機 能
5	ON	グループ1の音声をモニター出力1端子に出力します
	OFF	グループ1の音声をモニター出力1端子に出力しません
6	ON	グループ2の音声をモニター出力1端子に出力します
	OFF	グループ2の音声をモニター出力1端子に出力しません
7	ON	グループ1の音声をモニター出力2端子に出力します
	OFF	グループ1の音声をモニター出力2端子に出力しません
8	ON	グループ2の音声をモニター出力2端子に出力します
	OFF	グループ2の音声をモニター出力2端子に出力しません

ホールマスター (WT-MC60) の設定

(操作器接続型時のみ)

裏面部のボリュームで入力音声の音量と起動感度を調節します

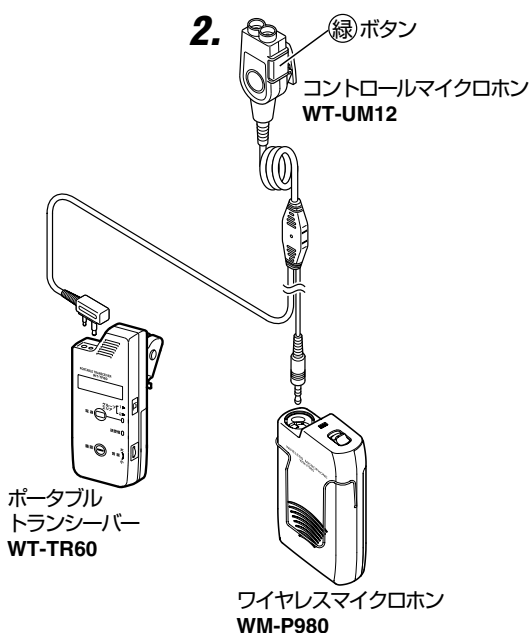
音量調節 : 右に回すと出力音声が大きく、左に回すと小さくなります

起動感度 : 右に回すと感度が高くなり、小さな音量で起動します
出力音声を確認しながら調節してください

店内放送をする

ポータブルトランシーバー（WT-TR60）とワイヤレスマイク（WM-P980）を一つのコントロールマイクロホンで店内放送がおこなえます。

この機能は、別売のコントロールマイクロホン（WT-UM12）を含む 800MHz 帯ワイヤレス放送システムの設置が必要です。



1. ワイヤレスマイク（WM-P980）からマイクを取りはずす

- ①電源スイッチを切る。
- ②マイクユニットを矢印の方向へまわす。
- ③マイクユニットを抜く。

2. コントロールマイクロホン（WT-UM12）に各機器を接続する

- コントロールマイクロホン（WT-UM12）を接続後は、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）とワイヤレスマイク（WM-P980）の電源はどちらも入れておいてください。

3. 緑ボタンを一度押して、通話する

- ボタンはプッシュロックになっており、押し下がったままとなります。
- ワイヤレスマイク（WM-P980）の電源ランプが緑色に点灯します。

4. 通話をやめるには、緑ボタンをもう一度押す

- ボタンは、元の位置に戻ります。

この機能についての詳細は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。またコントロールマイクロホン（WT-UM12）の「取扱説明書」もご覧ください。



●バッテリーの消耗は、ひとつのコントロールマイクロホンで操作しても、WT-TR60 と WM-P980 では異なります。

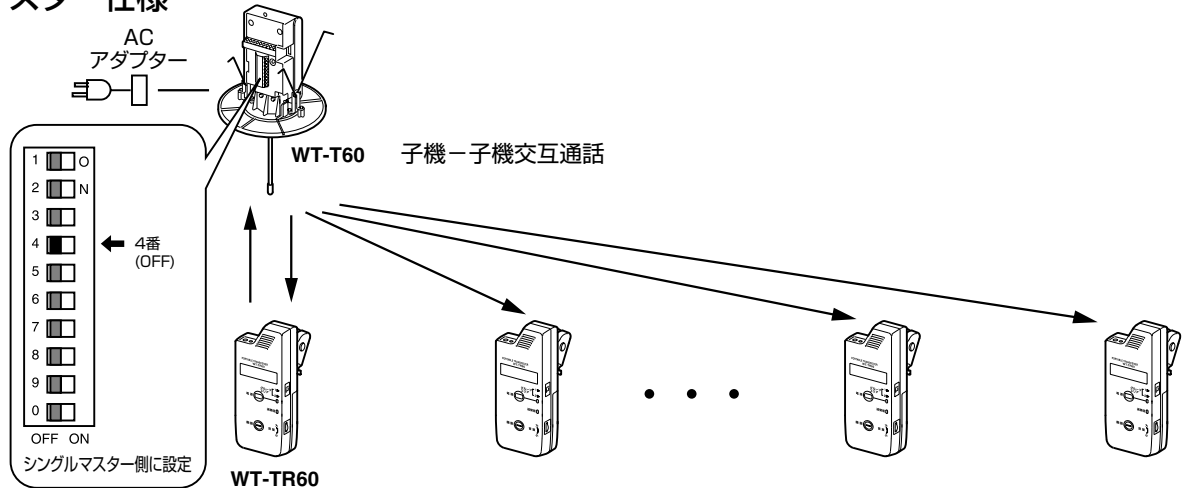
こんなことができます

スタンドアロン型のシステム構成例

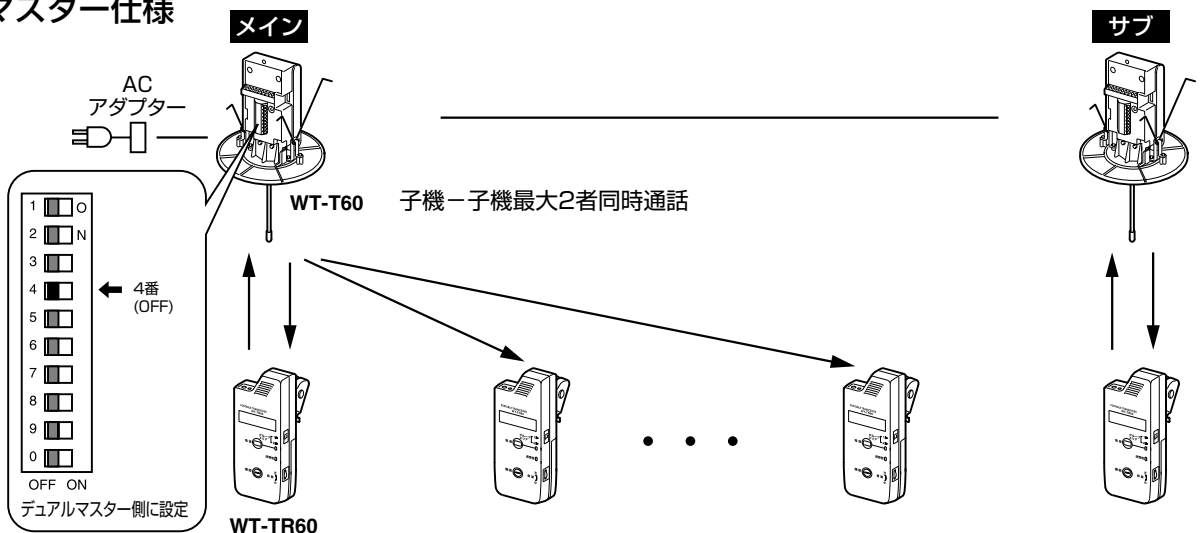
使用システムにより、マスタートランシーバー (WT-T60) の設定が必要です。

(スイッチ設定は 30 ページ)

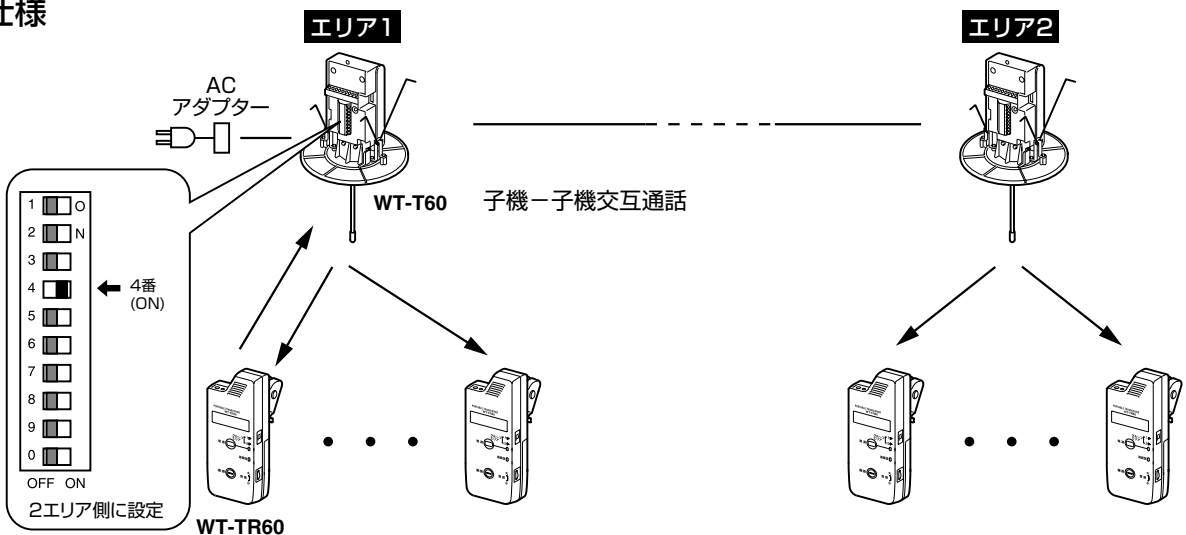
シングルマスター仕様



デュアルマスター仕様



2 エリア仕様



- エリア自動切換動作は、システム構成が2エリア仕様であり、WT-TR60とWT-T60がともに(B)以降のタイプである場合におこなえます。(WT-TR60のスイッチ設定は 33 ページ)

操作器接続型のシステム構成例

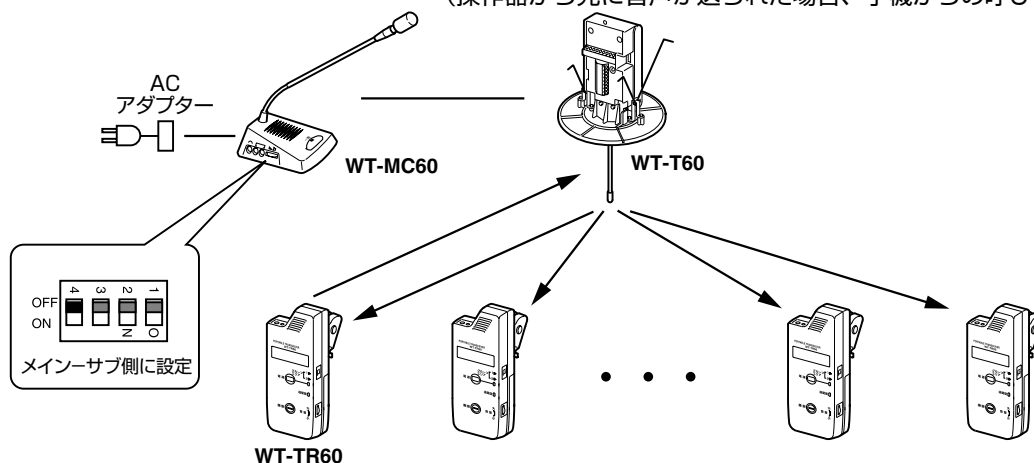
使用システムにより、ホールマスター（WT-MC60）の設定が必要です。（☞30ページ）

シングルマスター仕様

子機—子機交互通話

操作器—子機同時通話

（操作器から先に音声を送られた場合、子機からの呼び出しはおこなえません）

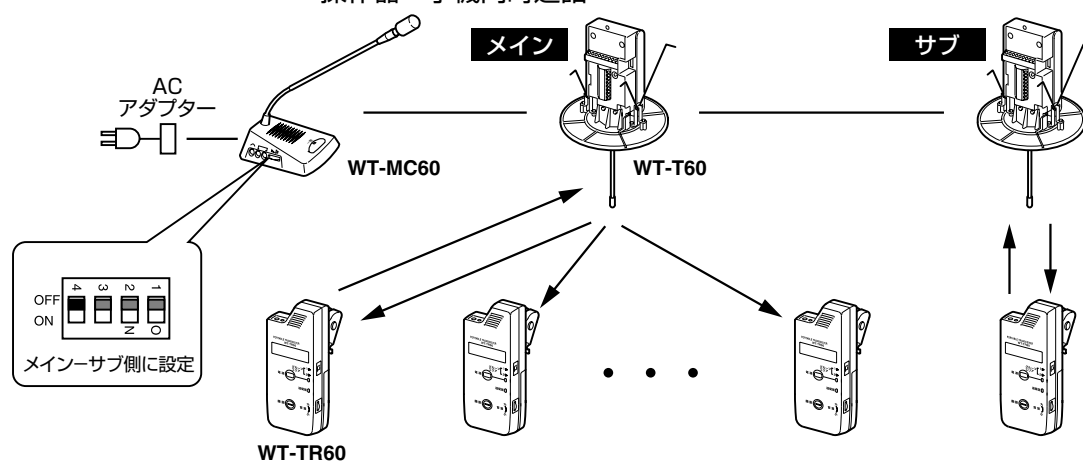


デュアルマスター仕様

子機—子機最大2者同時通話

（操作器から先に音声を送られた場合、子機—子機の交互通話になります）

操作器—子機同時通話

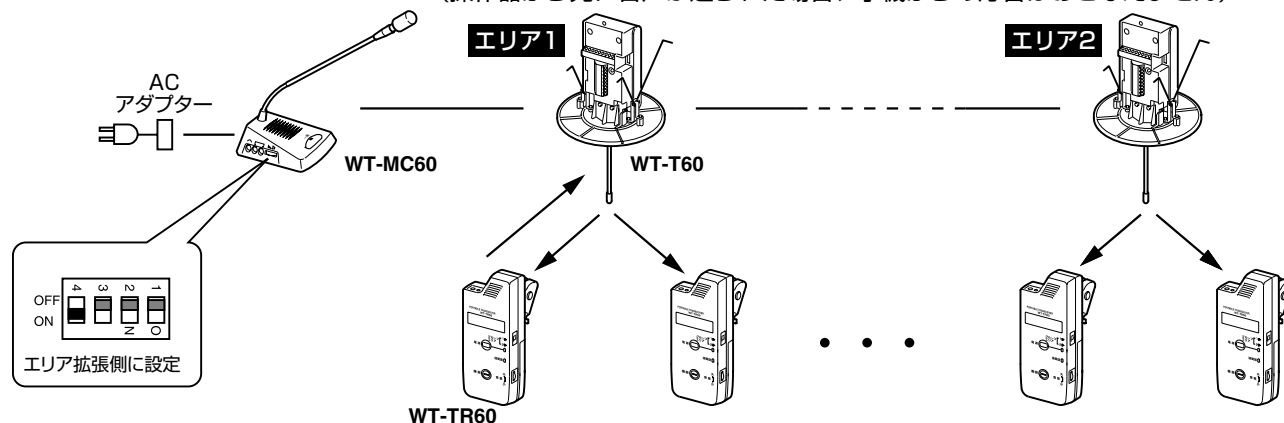


2エリア仕様

子機—子機交互通話

操作器—子機同時通話

（操作器から先に音声を送られた場合、子機からの応答はおこなえません）



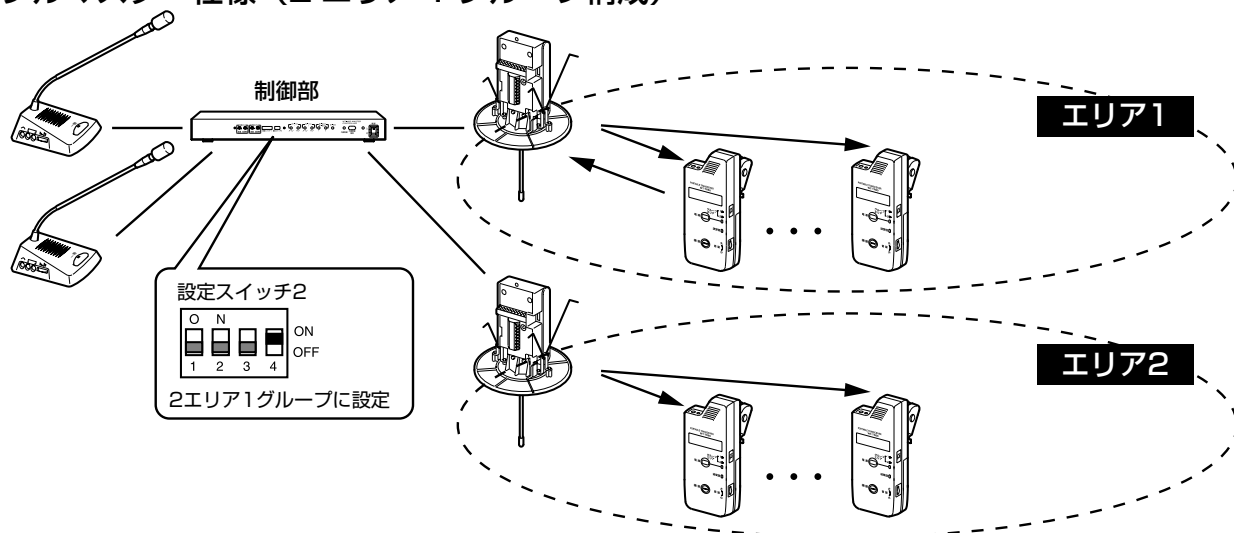
ご注意

- エリア自動切換動作は、システム構成が2エリア仕様であり、WT-TR60とWT-T60がともに（B）以降のタイプである場合におこなえます。（WT-TR60のスイッチ設定は☞33ページ）

こんなことができます (つづき)

制御部接続型のシステム構成例

使用システムにより、マスターコントローラー (WT-M60) の設定が必要です。(☞ 30 ページ)
シングルマスター仕様 (2 エリア 1 グループ構成)

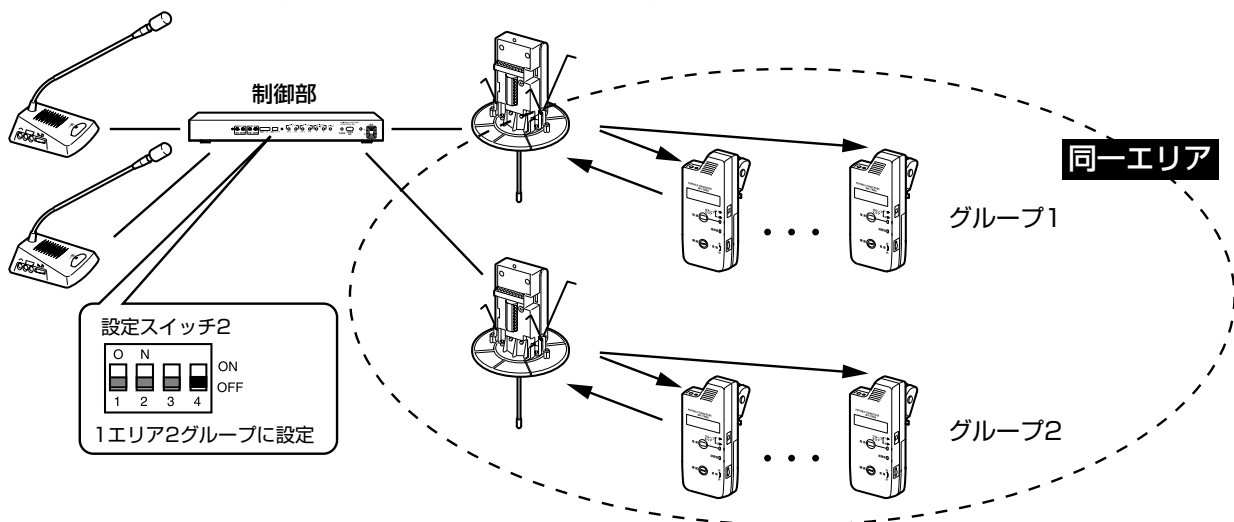


- 子機—子機交互通話
- 操作器—子機同時通話
(操作器から先に音声を送られた場合、子機からの応答はおこなえません)

ご注意

- エリア自動切換動作は、システム構成が 2 エリア 1 グループ構成であり、WT-TR60 と WT-T60 がともに (B) 以降のタイプである場合におこなえます。(WT-TR60 のスイッチ設定は ☞ 33 ページ)

シングルマスター仕様 (1 エリア 2 グループ構成)

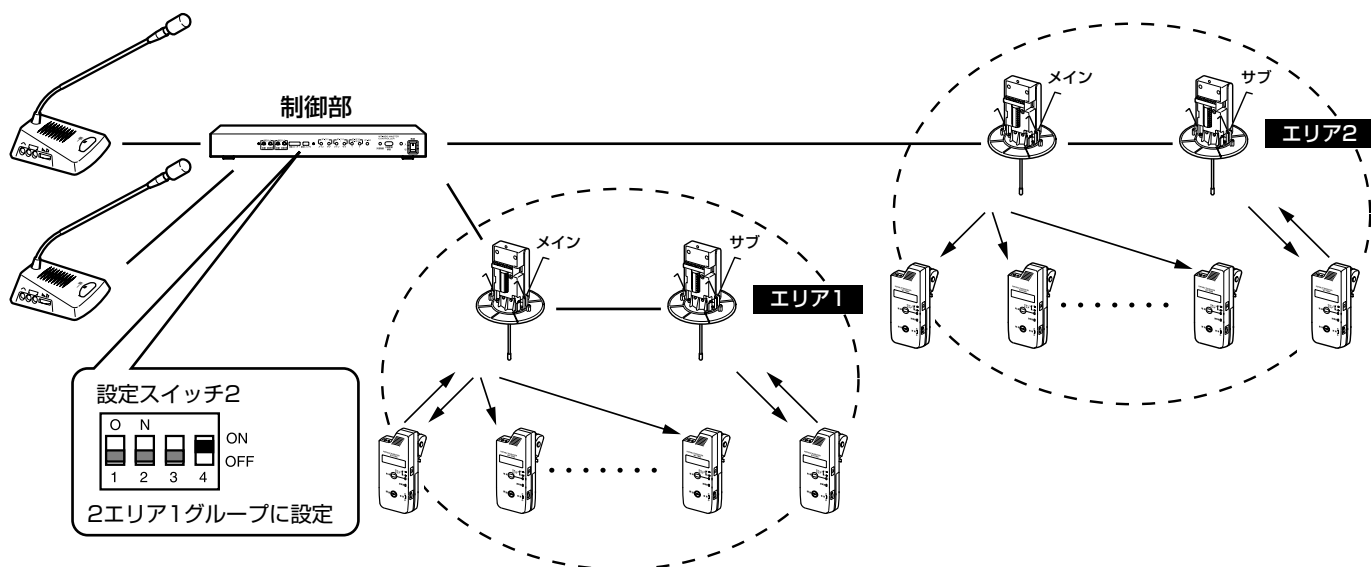


- グループ内：子機—子機交互通話
- 操作器—子機同時通話
(操作器から先に音声を送られた場合、子機からの応答はおこなえません)
- グループ独立通話

ご注意

- エリア自動切換動作はおこなえません。
- ポータブルトランシーバー (WT-TR60) が (B) 以降のタイプの場合は、設定スイッチ 2 の 5 番を OFF (エリア自動切換動作なし) に設定してください。(WT-TR60 のスイッチ設定は ☞ 33 ページ)

デュアルマスター仕様（2 エリア 1 グループ構成）

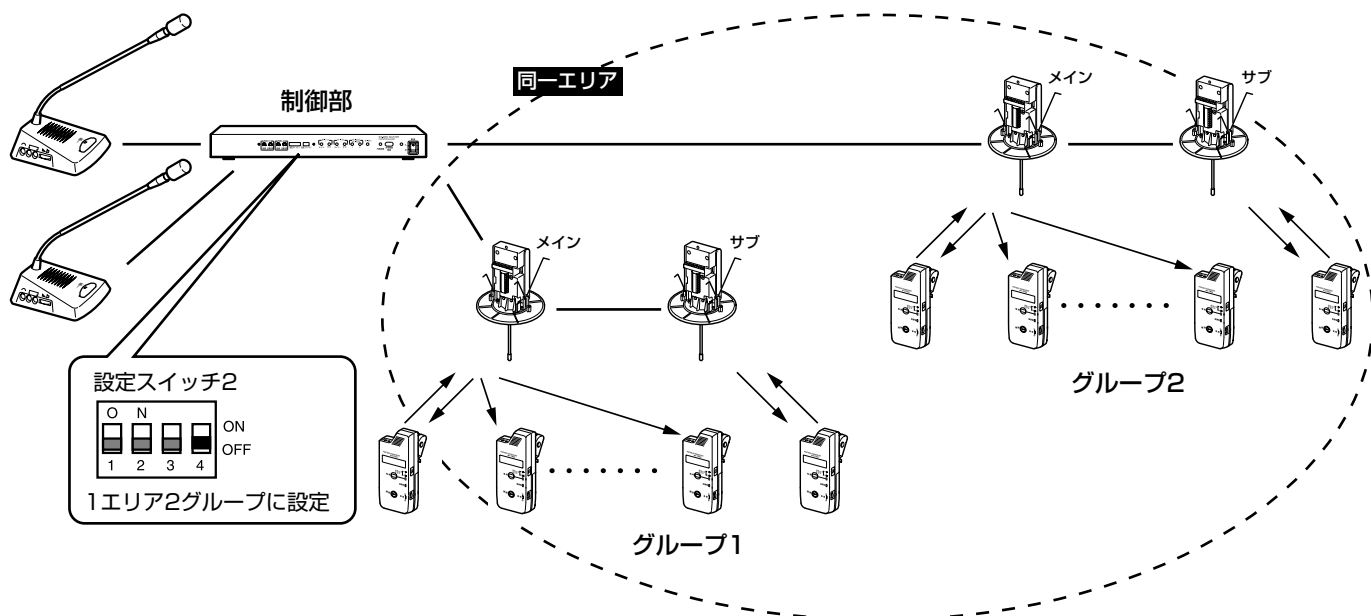


- 子機—子機最大 3 者同時通話
- 操作器—子機同時通話

ご注意

- エリア自動切換動作は、システム構成が 2 エリア 1 グループ構成であり、WT-TR60 と WT-T60 がともに (B) 以降のタイプである場合におこなえます。(WT-TR60 のスイッチ設定は 33 ページ)

デュアルマスター仕様（1 エリア 2 グループ構成）



- グループ内：子機—子機最大 2 者同時通話
- 操作器—子機同時通話
- グループ独立通話

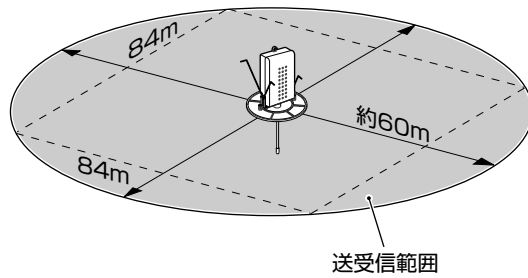
ご注意

- エリア自動切換動作はおこなえません。
- ポータブルトランシーバー (WT-TR60) が (B) 以降のタイプの場合は、設定スイッチ 2 の 5 番を OFF (エリア自動切換動作なし) に設定してください。(WT-TR60 のスイッチ設定は 33 ページ)

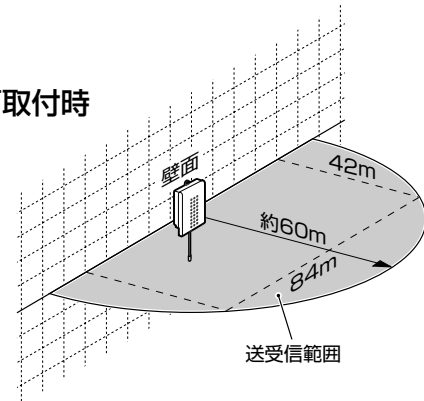
マスタートランシーバー（WT-T60）の送受信範囲

■送受信範囲

天井取付時



壁面取付時

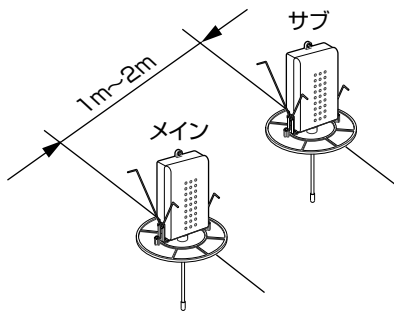


- [] の範囲は推奨使用範囲です。実際の送受信範囲は、設置場所や障害物などにより異なります。

■設置場所

- マスタートランシーバー（WT-T60）は送受信時のムラを減少させるため、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の使用範囲の中心に設定してください。

■2台設置する場合（同一グループ内）

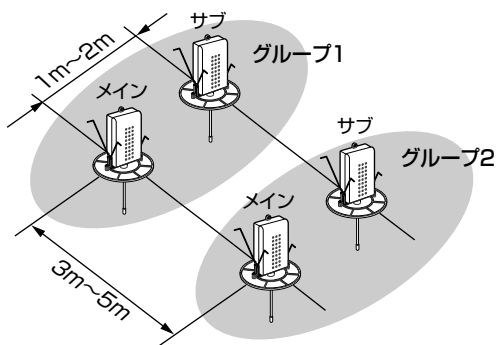


マスタートランシーバー（WT-T60）2台をメイン・サブとして設置する場合は、2台の間隔を 1m～2m にしてください。

ご注意

- この距離より近すぎたり、遠すぎたりすると誤動作の原因となります。

■同一エリア内で2グループに分けて使用する場合



同一エリア内に、2組のマスタートランシーバー（WT-T60）を設置する場合、グループの間隔を 3m～5m にしてください。

ご注意

- この距離より近すぎたり、遠すぎたりすると誤動作の原因となります。

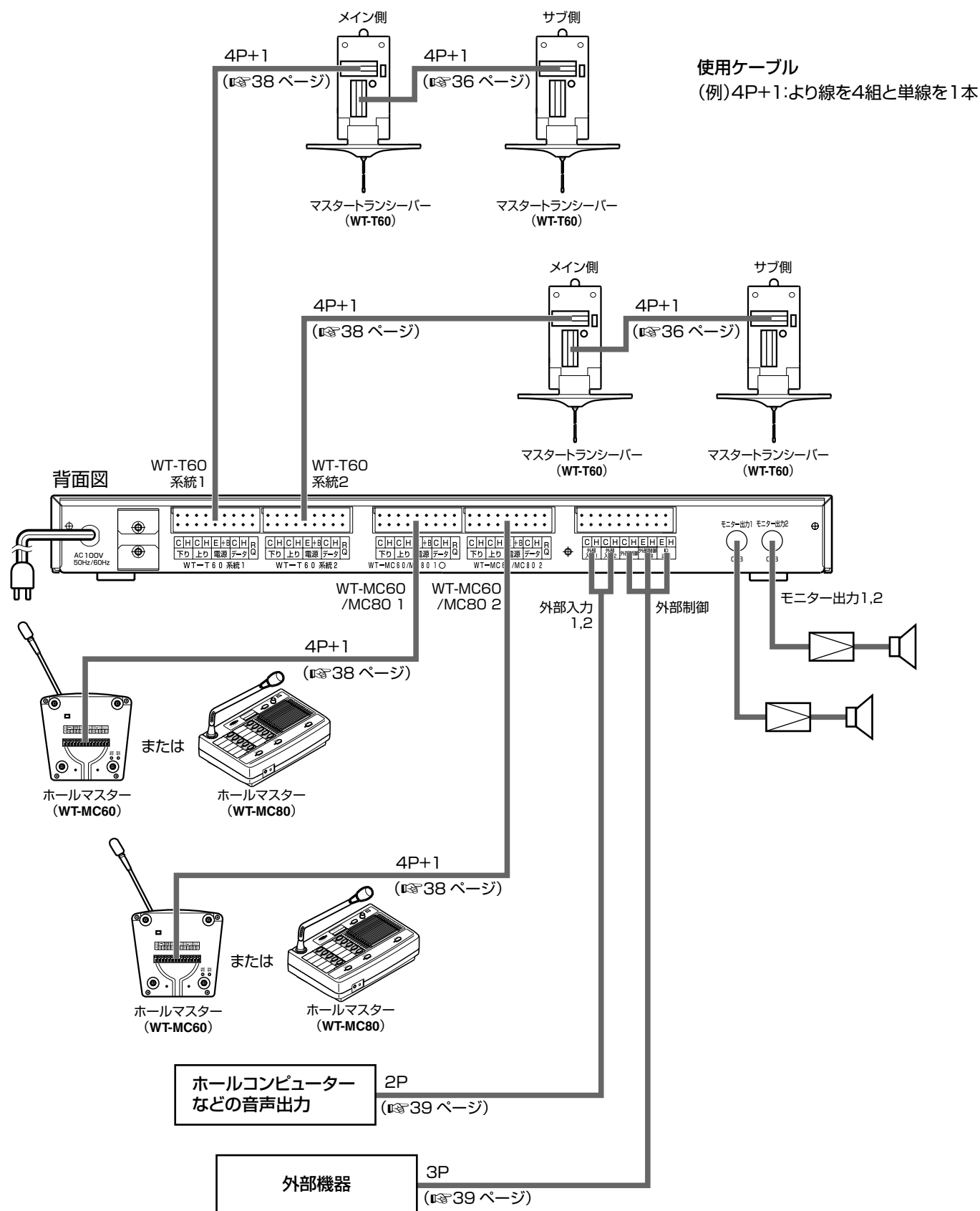
■2つのエリアで使用する場合

マスタートランシーバー（WT-T60）は、エリア別で送受信をおこなうため、エリア間の設置位置の制限はありません。

システム結線図

システム接続時の結線概略図です

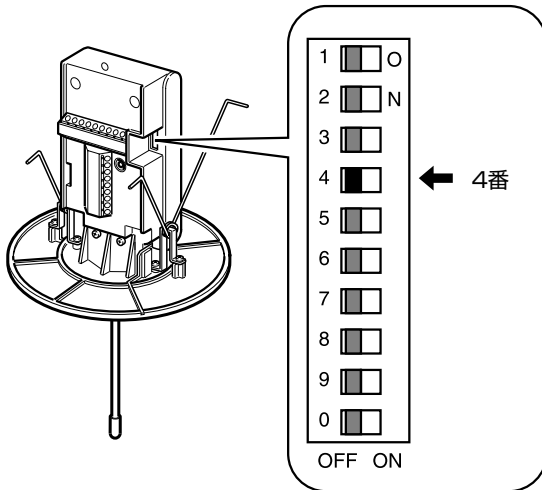
詳しい結線はそれぞれの参照ページをご覧ください。また結線後に35ページ「結線の記録シート」に設置場所や接続ケーブルの色を記録し、保管しておくことで増設やメンテナンスなどの時に便利です。



システム設定

システムの構成によりマスタートランシーバー (WT-T60)、ホールマスター (WT-MC60)、マスターコントローラー (WT-M60) のスイッチ設定が必要です。設置する前におこなってください。(システム構成の確認 24 ページ～ 27 ページ)

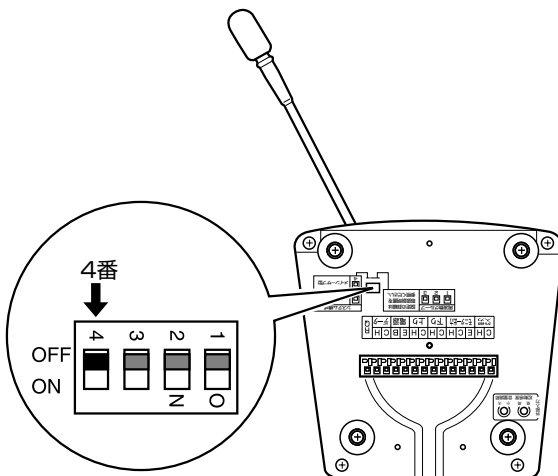
マスタートランシーバー (WT-T60) の設定



スタンドアロン型のシステムで設定します

- シングルマスター型 : 4 ☐ OFF (工場出荷時)
- デュアルマスター型 : 4 ☐ OFF (工場出荷時)
- 2 エリア型 : 4 ☒ ON

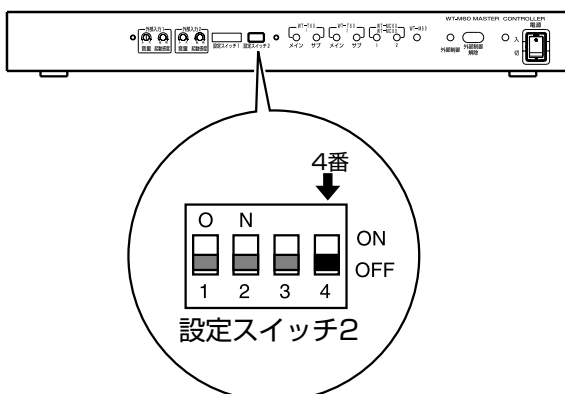
ホールマスター (WT-MC60) の設定



操作器接続型のシステムで設定します

- シングルマスター型 : ☐ OFF (工場出荷時)
- デュアルマスター型 : ☐ OFF (工場出荷時)
- 2 エリア型 : ☒ ON

マスターコントローラー (WT-M60) の設定



制御部接続型のシステムで設定します

シングルマスター型、デュアルマスター型において

- 1 エリア 2 グループ構成 ☐ OFF (工場出荷時)
- 2 エリア 1 グループ構成 ☒ ON

ご注意 ● カバー取付ネジは、付属のもの以外は使わないでください。故障の原因となります。

周波数グループの設定

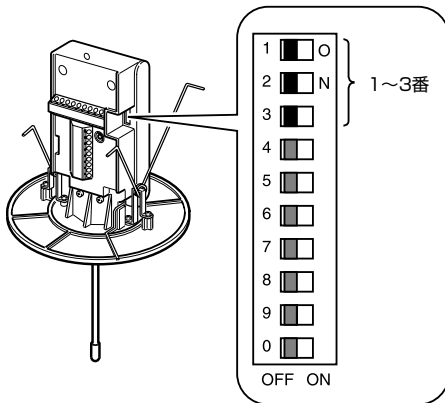
本システムでの送受信は、お互いに混信や干渉を起こさない周波数グループでおこなわれています。ただし、近接する場所に同じシステムがある場合や、同一周波数の妨害がある場合、他の周波数グループに変更することができます。

(工場出荷時は周波数グループ 1)

周波数設定は使用システムにより、下表の機器でおこなってください。

仕 様	接続型	制御部接続型	操作器接続型	スタンバイローン型
シングルマスター		マスターコントローラー(WT-M60) とポータブルランシーパー(WT-TR60)	ホールマスター(WT-MC60) とポータブルランシーパー(WT-TR60)	マスタートランシーパー(WT-T60) とポータブルランシーパー(WT-TR60)
デュアルマスター				上位のマスタートランシーパー(WT-T60) とポータブルランシーパー(WT-TR60)
2エリア		———		

■ マスタートランシーパー (WT-T60)

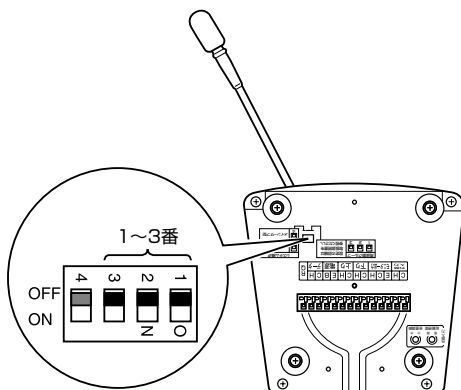


各機器とも 1 ～ 3 ピンの組み合わせで周波数グループを設定します。

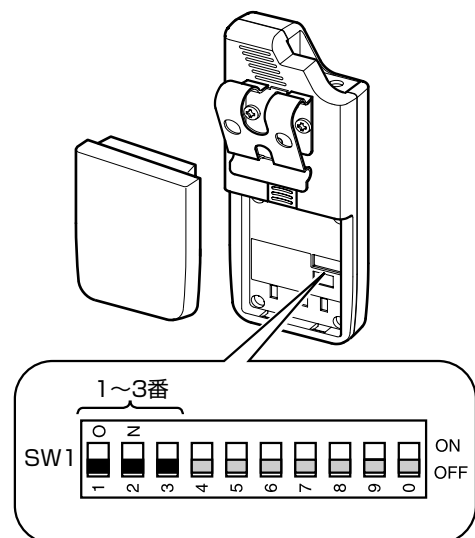
番号	周波数グループ							
	1	2	3	4	5	6	7	8
1	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
2	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
3	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON

設
置

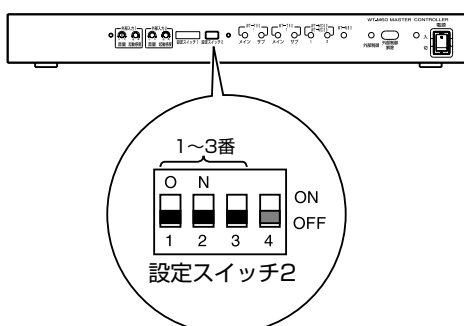
■ ホールマスター (WT-MC60)



■ ポータブルランシーパー (WT-TR60)



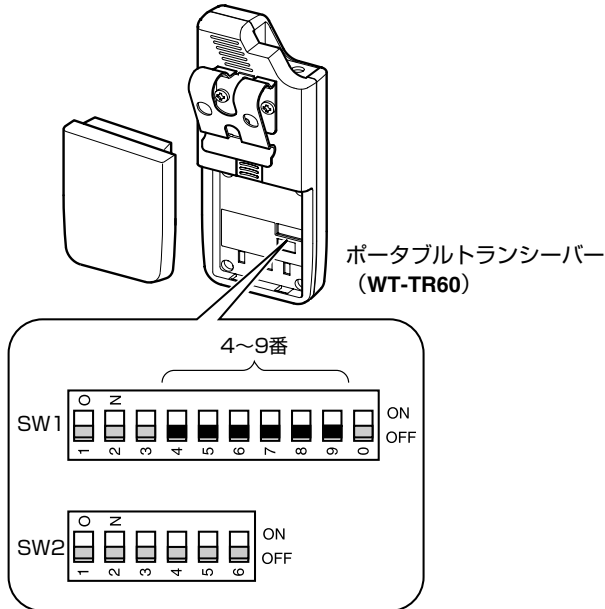
■ マスターコントローラー (WT-M60)



ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の子機番号設定

各ポータブルトランシーバー（WT-TR60）に子機番号を設定すると、ホールマスター（WT-MC80）から個別通話できます。（☎ 16 ページ）

個別通話で利用できる子機番号は 1 ～ 20 です。



バッテリーをはずし、SW1 で設定します。

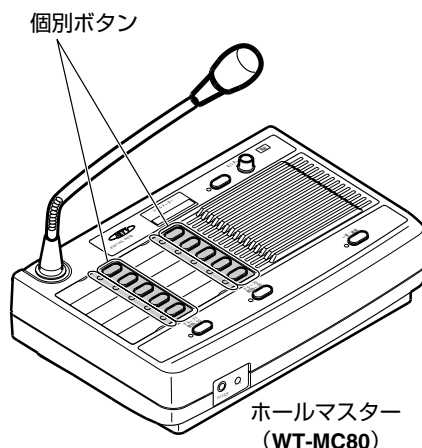
SW1

4 番～9 番の組み合わせで子機番号を設定します。
（工場出荷時は全て OFF）

子機番号	SW1					
	4番	5番	6番	7番	8番	9番
設定なし	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
5	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
6	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
7	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
10	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
11	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF
12	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
13	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF
14	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF
15	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
16	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
17	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
18	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
19	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
20	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
30	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
40	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
62	OFF	ON	ON	ON	ON	ON
63	ON	ON	ON	ON	ON	ON

※子機番号は 1 ～ 63 まで設定できますが、操作器（WT-MC80）から個別通話がおこなえるのは、1 ～ 20 までです。

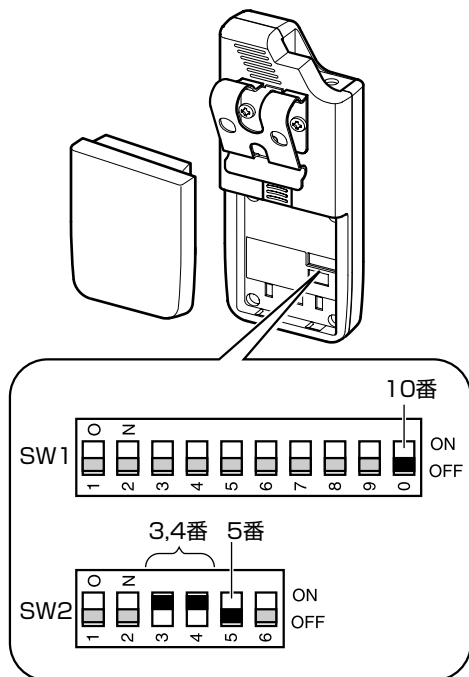
- メモ**
- 設置スイッチ 1（SW1）の 9 番は、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の（C）以降のタイプでは「ボイススクランブル機能の設定」となります。
 - ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の（C）以降のタイプの子機番号は、1 ～ 31 までになります。
- ご注意**
- ボイススクランブル機能は、ポータブルトランシーバー（WT-TR60）とマスタートランシーバー（WT-T60）がともに（C）以降のタイプである場合に設定できます。



- メモ**
- ホールマスター（WT-MC80）の個別ボタン 1 つに、複数台のポータブルトランシーバー（WT-TR60）を割り付けることはできません。子機番号が重複しないよう設定してください。
 - 同一エリア内で、同一子機番号（含む設定なし）のポータブルトランシーバー（WT-TR60）から、同時に発信するとノイズが出ることがあります。この場合は、別の子機番号を設定してください。
 - 設定した子機番号を、マスターコントローラー（WT-M60）背面の ID 送信端子から出力することもできます。（☎ 39 ページ）
 - マスターコントローラー（WT-M60）に付属のラベルは、グループ設定、子機番号設定後の確認用に使用してください。

ポータブルトランシーバー（WT-TR60）のその他の設定

ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の設定により、前ページ“子機番号設定”以外にも“外部制御”、“子機一斉通知”、“子機個別通話”、“ブザー音量”、“機能ボタン確定時間”を設定することができます。



■ 外部制御

外部機器を制御できます。

☞ 21 ページ

設定

SW2



(3 番 : ON、4 番 : OFF)

■ 子機一斉通話

2つのグループ内の全員に通話することができます。

☞ 19 ページ

設定

SW2



(3 番 : OFF、4 番 : ON)

■ 子機個別通話

子機番号「1」を呼び出すことができます。

☞ 20 ページ

設定

SW2



SW2 (3 番 : ON、4 番 : ON)

■ ブザー音量の設定

ブザー音を小さくすることができます。

設定

SW1



(10 番 : ON)

(工場出荷時は、OFF (ブザー音 : 大) に設定されています)

■ 機能ボタン確定時間の設定

機能ボタンを押す時間が短くても機能するようにできます。

設定

SW2



SW2 (5 番 : ON)

(工場出荷時は、OFF (長押し : 1 秒以上) に設定されています)

■ モード選択の設定

WT-T600 シリーズのポータブルトランシーバーとして使用するときは、OFF に設定してください。

設定

SW2



SW2 (6 番 : OFF)

(工場出荷時は、OFF に設定されています)



- 設定スイッチ 2 (SW2) の 5 番は、ポータブルトランシーバー (WT-TR60) の (B) 以降のタイプでは「エリア自動切換の設定」となります。

設定

SW1



SW2 (5 番 : ON) → エリア自動
切換あり

(工場出荷時は、OFF (エリア自動切換動作なし) に設定されています)

- ポータブルトランシーバー (WT-TR60) の (B) タイプの“機能ボタン確定時間”は、「長押し : 1 秒以上」固定です。
- 機種名ラベルで機種名を確認し、設定してください。☞ 5 ページ



- エリア自動切換動作は、ポータブルトランシーバー (WT-TR60) とマスタートランシーバー (WT-T60) がともに (B) 以降のタイプである場合におこなえます。
- システム構成が制御部接続型 1 エリア 2 グループの場合は、「エリア自動切換動作なし」に設定してご使用ください。システム構成については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ボイススクランブルの設定

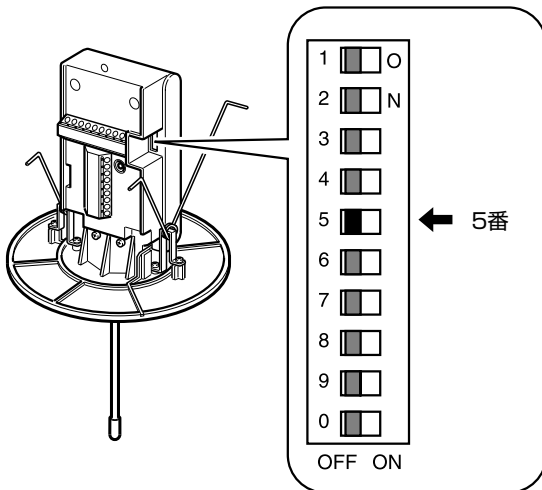
マスタートランシーバー (WT-T60)、ポータブルトランシーバー (WT-TR60) のスイッチ設定により、ボイススクランブル機能を設定することができます。

ボイススクランブル機能を設定していない相手には雑音として聞こえるだけで、通話内容を聞き取ることができなくなります。設定は設置する前に行なってください。

ご注意

- 機種名が下記表示の商品ではボイススクランブル機能を使用することはできません。
 - マスタートランシーバー WT-T60、WT-T60(B)
 - ポータブルトランシーバー WT-TR60、WT-TR60(B)
- ボイススクランブル機能を使用すると、音声信号処理により音質が変化する場合があります。
- 機密を要する重要な通話に使用することはお薦めできません。第三者による傍受を完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。
- ポータブルトランシーバー WT-TR60(C) 以降のタイプでは子機番号設定による子機番号は 1 ～ 31 になります。

マスタートランシーバー (WT-T60) の設定



- WT-T60(C) 以降のタイプでは、⑦設定スイッチの 5 番がボイススクランブル機能設定になります。

☞8 ページ

- ボイススクランブル機能を使用する場合は、設定スイッチの 5 番を ON にしてください。

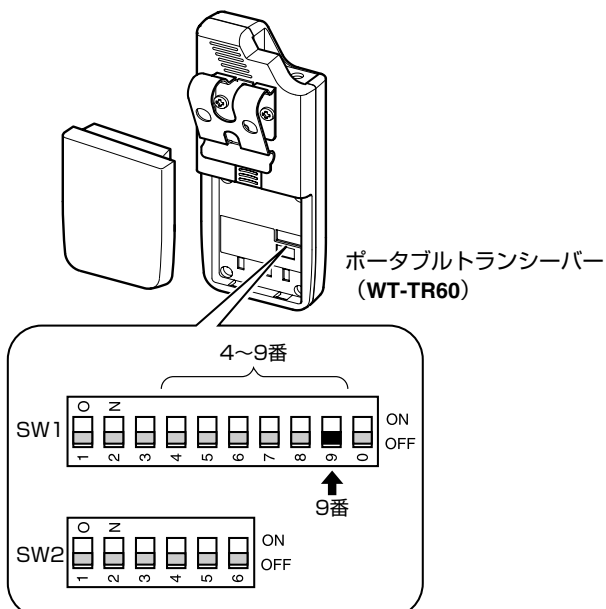
ボイススクランブル機能 OFF : 5  OFF (工場出荷時)

ボイススクランブル機能 ON : 5  ON

ご注意

- ボイススクランブル機能を使用する場合は、システム内の全てのマスタートランシーバーのボイススクランブル機能設定を ON にしてください。
- 設定はシステムの電源を切った状態で行なってください。

ポータブルトランシーバー (WT-TR60) の設定



- WT-TR60(C) 以降のタイプでは、⑨設定スイッチ 1 の 9 番がボイススクランブル機能設定になります。

☞7 ページ

- ボイススクランブル機能を使用する場合は、⑨設定スイッチ 1 の 9 番を ON にしてください。

- 子機番号は⑨設定スイッチ 1 の 4 ～ 8 番になり、子機番号は 1 ～ 31 までは設定できます。

☞32 ページ

ボイススクランブル機能 OFF :  OFF (工場出荷時)

ボイススクランブル機能 ON :  ON

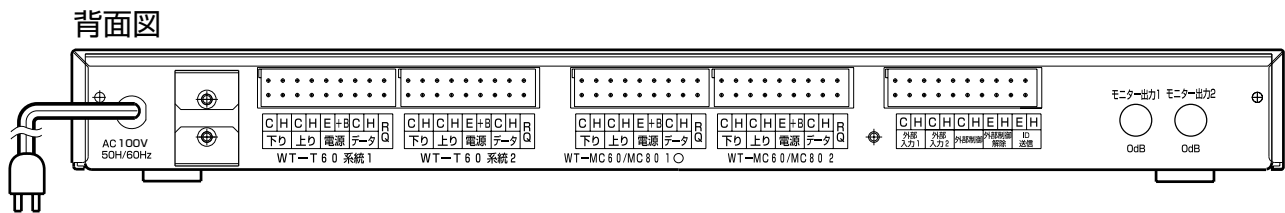
ご注意

- ボイススクランブル機能を使用する場合は、システム内の全てのポータブルトランシーバーのボイススクランブル機能を ON にしてください。
- 子機番号設定による子機番号 32 ～ 63 は設定できません。

結線の記録シート

このページは、コピーして使用してください

マスターコントローラー（WT-M60）に接続した機器の設置場所や接続ケーブルの線色を記録し保管しておく、増設や修理などの時に便利です。



マスタートランシーバー (WT-T60) 接続端子

設置場所 ()

線色									
端子名	C	H	C	H	E+B	C	H	R	Q
	下り	上り	電源	データ					

WT-T60系統1

設置場所 ()

線色									
端子名	C	H	C	H	E+B	C	H	R	Q
	下り	上り	電源	データ					

WT-T60系統2

マスターコントローラー (WT-MC60/WT-MC80) 接続端子

設置場所 ()

線色									
端子名	C	H	C	H	E+B	C	H	R	Q
	下り	上り	電源	データ					

WT-MC60/MC80 1

設置場所 ()

線色									
端子名	C	H	C	H	E+B	C	H	R	Q
	下り	上り	電源	データ					

WT-MC60/MC80 2

外部機器接続端子

設置場所 ()

線色									
端子名	C	H	C	H	C	H	C	H	E H
	外部入力1	外部入力2	外部制御	外部制御解除	ID送信				

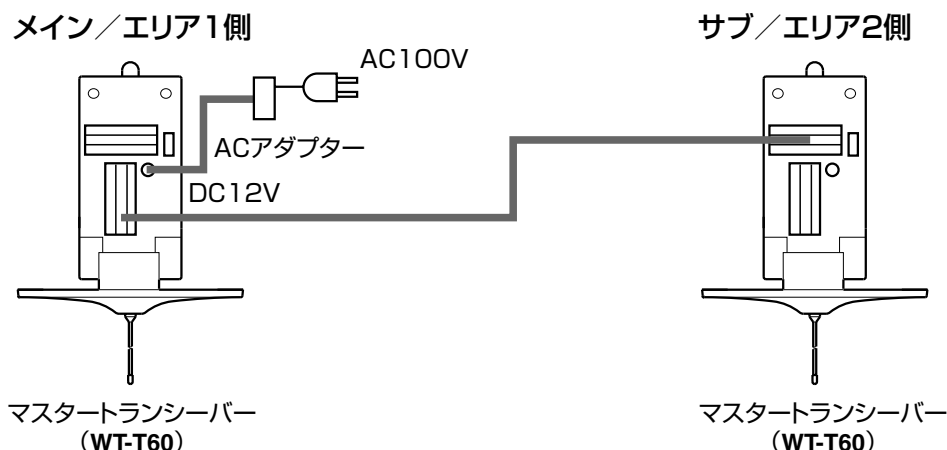
接続

マスタートランシーバー (WT-T60) 2 台をつなぐ

マスタートランシーバー (WT-T60) 2 台を接続する場合、下図のように接続する端子によりメイン／エリア 1 とサブ／エリア 2 が決まります。

設定はメイン／エリア 1 側でおこないます。

接続はスタンドアローン型(☞24 ページ)、操作器接続型(☞25 ページ)、制御部接続型 (☞26 ページ) のどの場合も同様です。



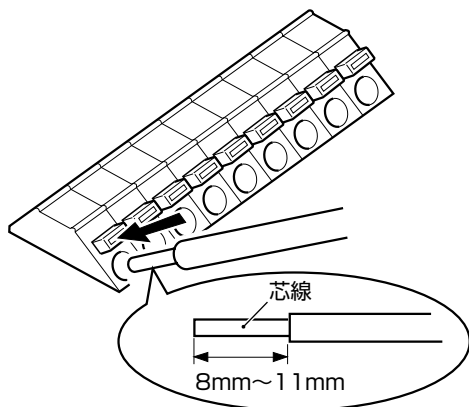
■ WT-T60 と WT-T60 の接続

メイン側 (WT-T60)
接続端子1

端子名	
R	Q
データ	H C
電源	+B E
上り	H C
下り	H C

サブ側 (WT-T60)
接続端子2

端子名	
R	Q
データ	H C
電源	+B E
上り	H C
下り	H C



DC12V 電源

スタンドアローン型で使用する場合、**WT-T60** の DC12V 端子に別売の専用 AC アダプターを接続してください。

(AC アダプター：UN110-1210)

AC アダプターについては、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

AC アダプターは必ず上記を使用してください。

他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

使用ケーブル (推奨品)

CPEV ケーブル対よりタイプ (5P：対数 5)

最大ケーブル長

	導体線径	
仕様	φ0.9mm	φ1.2mm
デュアルマスター	2m (☞27 ページ)	2m (☞27 ページ)
2エリア	300m	500m

推奨品以外のケーブルを使用すると、通話音声にノイズが出たりすることがあります。

ケーブルの接続方法 (WT-T60)

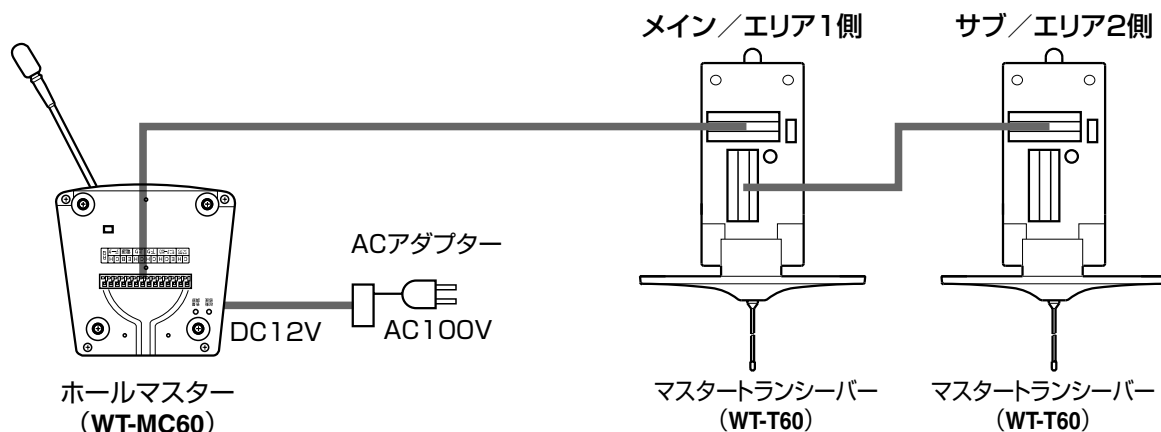
- ① ケーブルの被ふくを 8mm ~ 11mm むきます。
- ② 芯線を端子穴の奥までまっすぐ差し込みます。
- ③ ケーブルを引っぱって抜けないことを確認します。

ケーブルをはずす場合は ⊖ ドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。

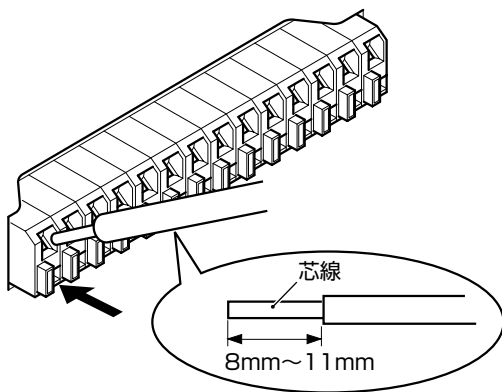
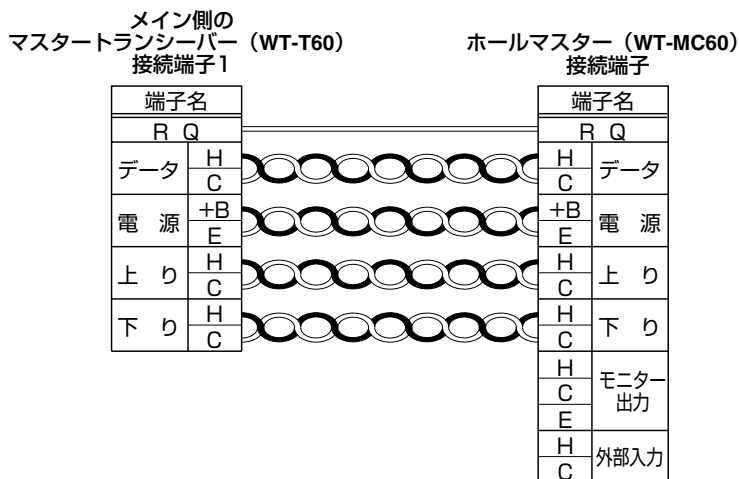


● 多芯ケーブルを利用し、使用しないケーブルがある場合、あまった線は、先端が取付金具や C チャンネルに接触しないようテーピング処理してください。

ホールマスター（WT-MC60）とマスタートランシーバー（WT-T60）をつなぐ
操作器接続型（☞25 ページ）のシステムの場合、ホールマスター（WT-MC60）と
マスタートランシーバー（WT-T60）を接続します。



WT-T60 と WT-MC60 の接続



WT-T60 と WT-T60 の接続

☞36 ページ

DC12V 電源

操作器接続型で使用する場合、**WT-MC60** の DC12V 端子に、別売の専用 AC アダプターを接続してください。

（AC アダプター：UN1 10-1210）

AC アダプターについては、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

AC アダプターは必ず上記を使用してください。

他の AC アダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

使用ケーブル（推奨品）

CPEV ケーブル対よりタイプ（5P：対数 5）

最大ケーブル長

仕様	接 続 端 子	導体線径	
		φ0.9mm	φ1.2mm
デュアルマスター	WT-MC60とメイン側WT-T60の間	200m	300m
	メイン側WT-T60とサブ側WT-T60の間	2m (☞27 ページ)	2m (☞27 ページ)
2エリア	WT-MC60とエリア1側WT-T60の間	100m	150m
	エリア1側WT-T60とエリア2側WT-T60の間	200m	300m

ケーブルの接続方法（WT-MC60）

- ① ケーブルの被ふくを 8mm ～ 11mm むきます。
- ② 芯線を端子穴の奥までまっすぐ差し込みます。
- ③ ケーブルを引っぱって抜けないことを確認します。
- ④ ホルダーを取り付けます。

ケーブルをはずす場合は○ドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。

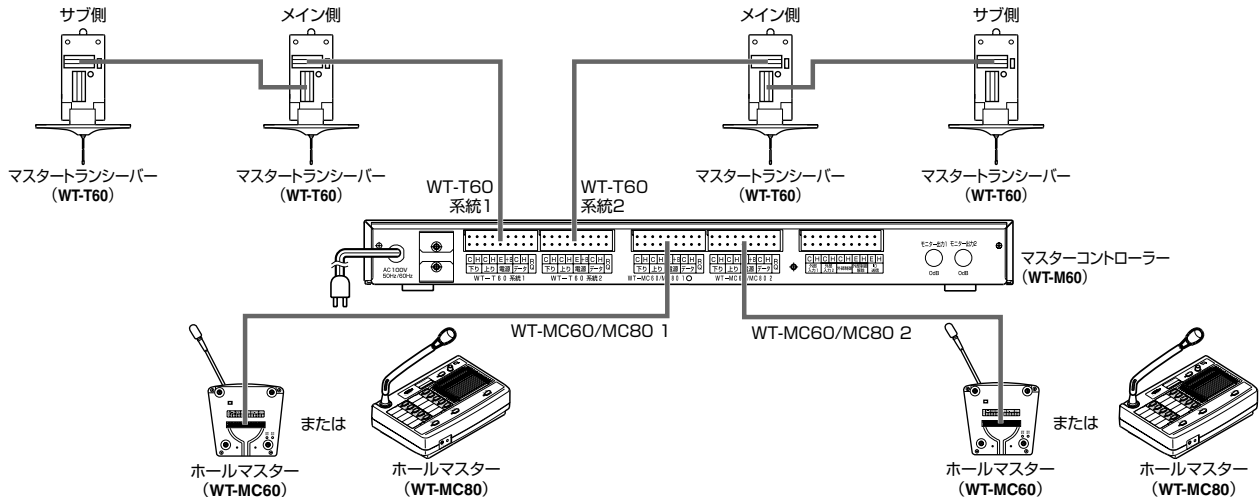


- ホルダー取付ネジは、付属のネジ以外は使わないでください。故障の原因となります。
- 多芯ケーブルを利用し、使用しないケーブルがある場合、あまった線は、先端が取付金具や C チャンネルに接触しないようテーピング処理してください。

接続 (つづき)

マスターコントローラー (WT-M60) とつなぐ

制御部接続型(☞26 ページ)のシステムの場合、マスターコントローラー(WT-M60)とホールマスター (WT-MC60/MC80) およびマスタートランシーバー (WT-T60) を接続します。



WT-M60 と WT-MC60/MC80 の接続

マスターコントローラー
(WT-M60) 接続端子

端子名	R	Q
データ	H	C
電源	B	E
上り	H	C
下り	H	C

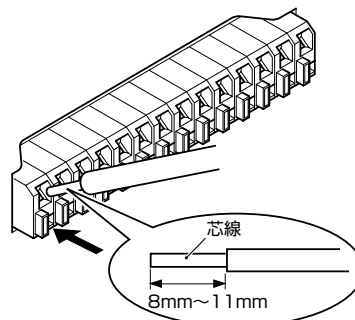
ホールマスター
(WT-MC60/MC80)
接続端子

端子名	R	Q
データ	H	C
電源	B	E
上り	H	C
下り	H	C
モニター出力	H	C
外部入力	H	C

最大ケーブル長

接 続 端 子	導体線径	
	φ0.9mm	φ1.2mm
WT-M60とWT-MC60/MC80の間	200m	300m
WT-M60とメイン側WT-T60の間	300m	500m
メイン側WT-T60とサブ側WT-T60の間	2m(☞27ページ)	2m(☞27ページ)

ケーブルの接続方法 (WT-M60)



- ① ケーブルの被ふくを8mm～11mm むきます。
- ② 芯線を端子穴の奥までまっすぐ差し込みます。
- ③ ケーブルを引っばって抜けないことを確認します。
- ④ カバーを取り付けます。

WT-M60 と WT-T60 の接続

マスターコントローラー
(WT-T60) 接続端子

端子名	R	Q
データ	H	C
電源	+B	E
上り	H	C
下り	H	C

メイン側のマスタートランシーバー
(WT-T60/MC80)
接続端子1

端子名	R	Q
データ	H	C
電源	+B	E
上り	H	C
下り	H	C

WT-T60 と WT-T60 の接続

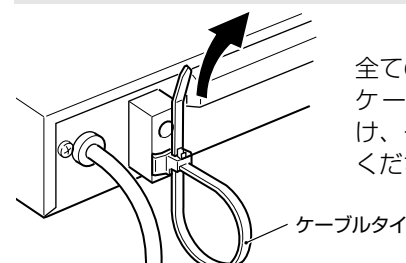
☞36 ページ

使用ケーブル (推奨品)

CPEV ケーブル対よりタイプ (5P: 対数5)

ケーブルをはずす場合は⊖ドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。

メモ ●多芯ケーブルを利用し、使用しないケーブルがある場合、あまった線は、先端が取付金具やCチャンネルに接触しないようテーピング処理してください。



全ての接続が終わったらケーブルタイを取り付け、ケーブルをまとめてください。

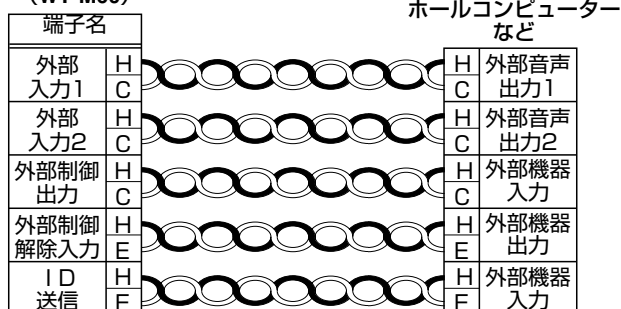
マスターコントローラー（WT-M60）の外部入力・外部制御信号

■ WT-M60 と外部機器

外部入力 1、外部入力 2 端子は、接続とともに、マスターコントローラー（WT-M60）前面部でのスイッチ設定と調節が必要です。

☞ 22 ページ「外部機器から入力した音声を送る」

マスターコントローラー
（WT-M60）



ホールコンピューターなどの外部機器と接続し下記のようなことがおこなえます。

● 外部制御による外部機器の起動出力

外部制御出力信号 H は、通常オープンで、外部制御中は C とショートとなるリレー接点出力です。

（リレー接点定格：AC 30V/0.5A, DC 30V/1A）

リレー接点には AC1 次配線を直接接続させることはできません。

● 外部からの外部制御解除

外部制御中に、外部制御解除入力の H と E を数秒間ショートすると外部制御は解除されます。

● 外部制御している子機番号の出力

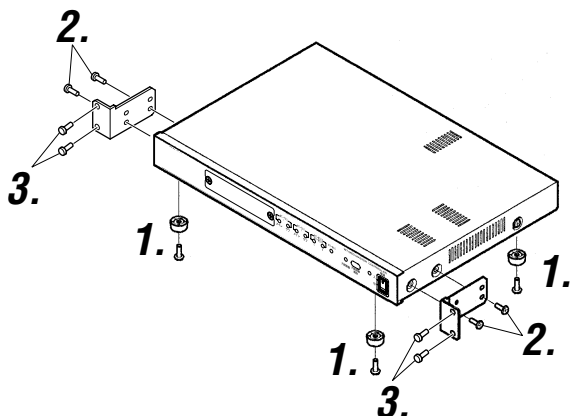
外部制御中に、ID 送信端子に外部制御を発信した子機番号が出力されます。

子機番号の設定は、子機ごとにおこなう必要があります。

☞ 32 ページ「ポータブルトランシーバー（WT-TR60）の子機番号設定」

マスターコントローラー（WT-M60）をラックに取り付ける

ラックに取り付ける場合、別売のラックマウント金具 PS-RU11（ブラック）を用いて取り付けます。



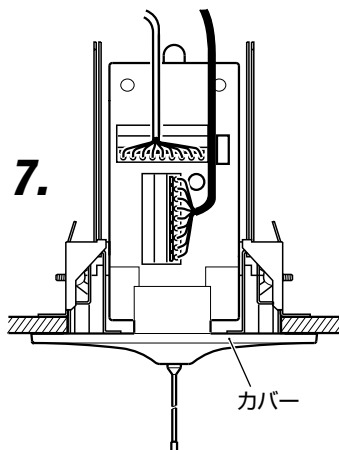
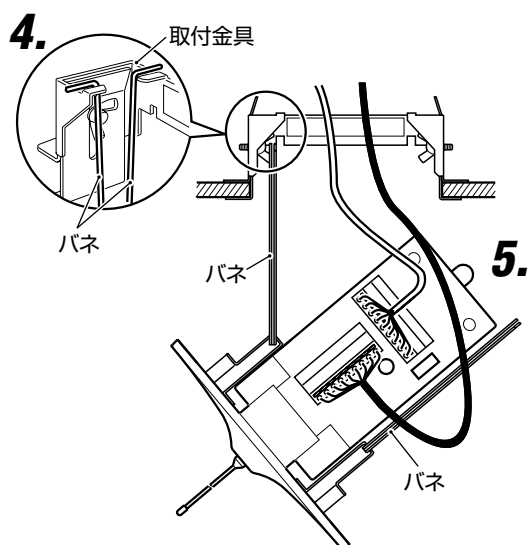
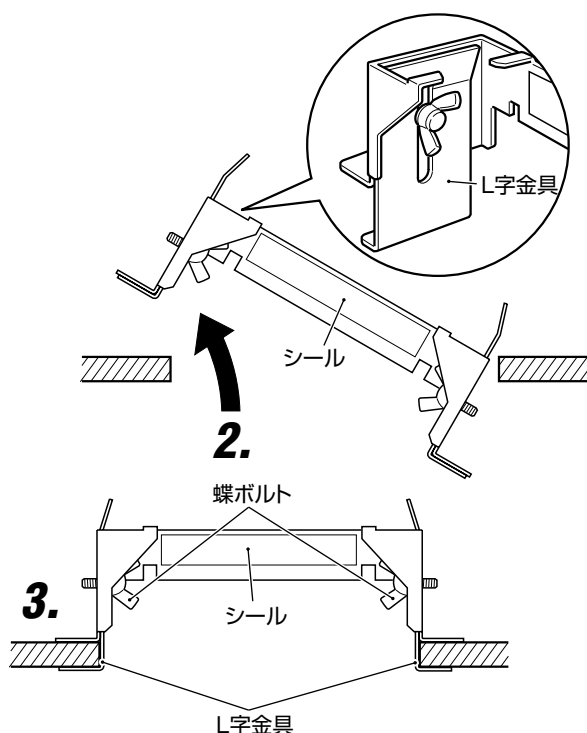
1. フットをはずす（4 か所）

2. 側面のネジ（左右各 2 本）をはずし、そのネジでラックマウント金具を本機に取り付ける

3. ラックマウント金具に添付のネジでラックに取り付ける

マスタートランシーバー (WT-T60) を天井に取り付ける

マスタートランシーバー (WT-T60) を付属の天井取付金具を用いて天井に取り付けます。
(天井厚さ 5mm ~ 25mm。高さ 170mm 以上、直径 ϕ 270mm 以上のスペースがある場所に取り付けてください)



1. 天井に ϕ 120mm ~ ϕ 125mm の丸穴を開ける

2. L字金具をゆるめ、天井取付金具を丸穴に通す
※シールが見える向きに取り付けます。

3. L字金具で天井をはさみ、蝶ボルトで締める

4. 端子側を手前にし、バネを押さえながら、天井取付金具に引っかける
※向きを間違えると正しく取り付けません。

5. ケーブルを接続する
接続方法 (P.36 ページ)

6. 反対側のバネも **4.** と同様に引っかける

7. カバーを上を押す

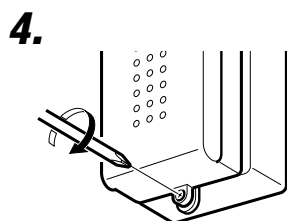
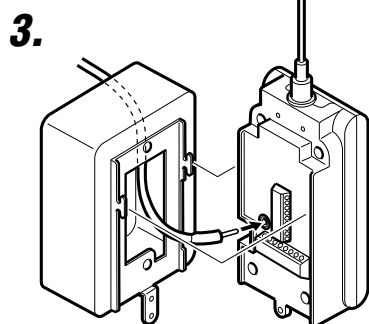
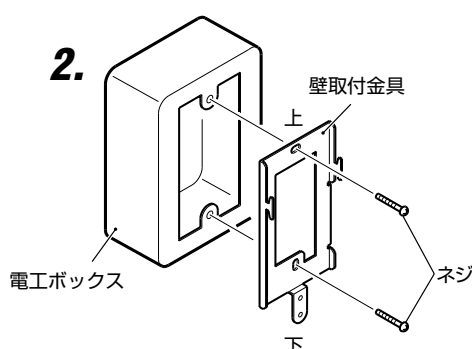
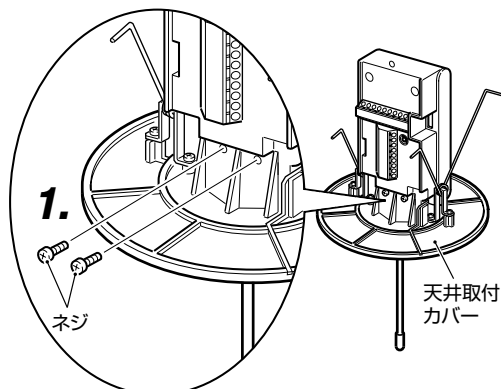
- カバーと天井にすき間なく取り付いているか確認してください。



●天井取付金具やバネが金属製の梁 (C チャンネル) など他の金属と接触しないよう取り付けてください。接触すると誤動作や、バリバリといった雑音の原因となることがあります。

マスタートランシーバー (WT-T60) を壁に取り付ける

マスタートランシーバー (WT-T60) を壁に取り付ける場合は、天井取付カバーをはずし、電気ボックスを利用して取り付けます。



1. ネジ 2 本をはずし、天井取付カバーをはずす

2. 壁取付金具 (付属) をネジ 2 本 (付属品) で取り付ける

● 上下左右の向きに注意してください。

3. マスタートランシーバー (WT-T60) を壁取付金具のツメ部に差し込み、すべらせるように下に移動させる

● ユニット側の 2 本線と壁取付金具のツメを合わせてください。

4. 固定ネジを締める

● すき間がなく、取り付いているか確認してください。

設置



次のような場所の近くには、なるべく距離をとって設置してください。誤動作やノイズの原因となります。

①放電を伴う機器の近く

● 水銀灯やネオン灯を使用した電飾など（特に点灯しづらくなった水銀灯は、安定期から強力なランダムノイズを発生することがあります）

②火花を発生する機器の近く

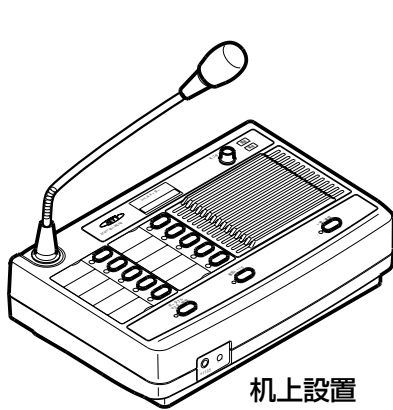
● 空気清浄機、捕虫器、エアコンなど（特に長い間使用した空気清浄機は強いノイズを発生します。このときは空気清浄機のオーバーホール（電極の清掃）をおこなってください）

③誘導ノイズを発生する可能性のある場所

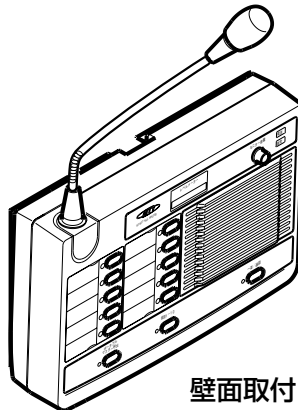
● 天井、壁、床下の配線ケーブル類

ホールマスター（WT-MC80）の設置

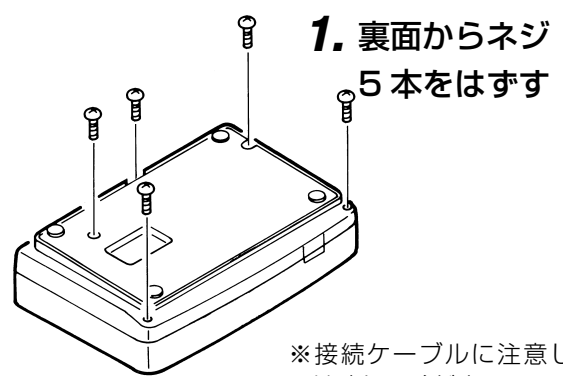
ホールマスター（WT-MC80）にマイクとケーブルを取り付ける必要があります。
机上で使用する場合と、壁面に取り付ける場合で異なります。



机上設置



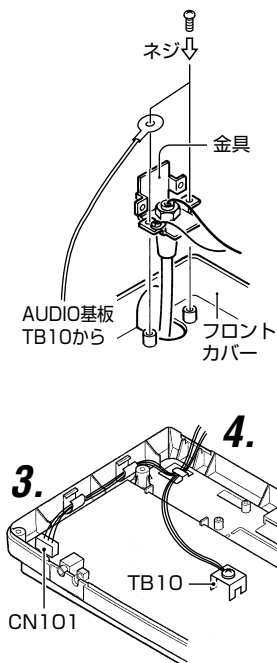
壁面取付



**1. 裏面からネジ
5本をはす**

※接続ケーブルに注意し
てはしてください。

机上設置の場合



2. 付属のネジでマイクを取り付ける

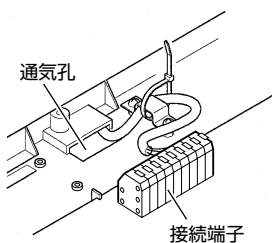
- フロントカバーに押し付けて、すき間がないように取り付けてください。

3. マイクからのケーブルを CN101 に取り付ける

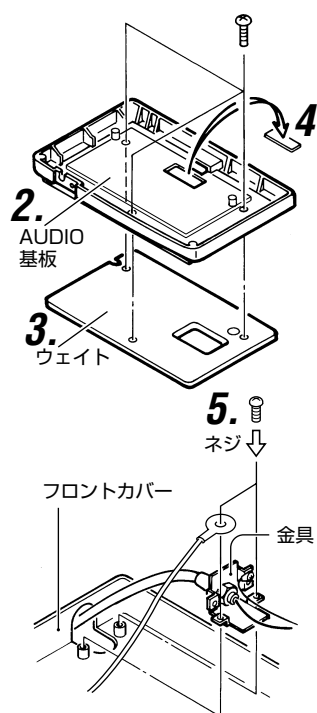
4. CN101 と TB10 からのケーブルをクランプする

5. 通線孔からケーブルを引き出し端子に接続する

☞ 38 ページ



壁面に取り付ける



2. AUDIO 基板をはす

3. ウェイトをはす

4. 通線孔ふたを切り取る

5. 付属ネジでマイクを取り付ける

- フロントカバーに押し付けて、すき間のないように取り付けてください。

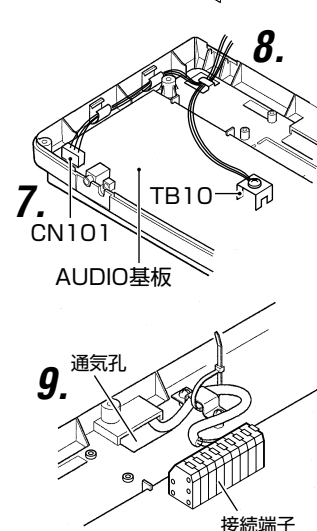
6. 手順 1. ではずした AUDIO 基板を付ける

7. マイクからのケーブルを CN101 に取り付ける

8. CN101 と TB10 からのケーブルをクランプする

9. 通線孔からケーブルを引き出し端子に接続する

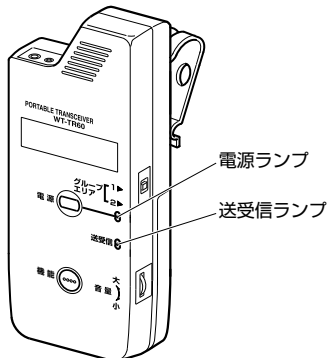
☞ 38 ページ



ランプ表示

ランプ表示で各機器の状態を表します。

■ポータブルトランシーバー（WT-TR60）

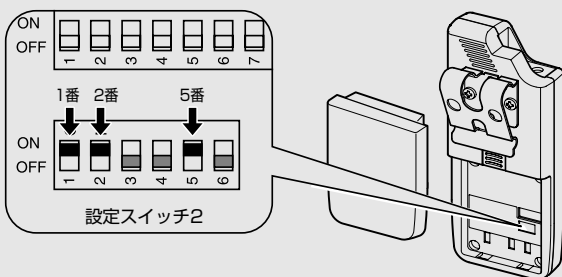


電源ランプ		送受信ランプ		状 態
消灯		消灯		電源が入っていない
赤	点滅	消灯		異常検出
緑	点灯	—		通常動作
緑	点滅	—		電池残量が少ない
緑	点灯	消灯		正常待ち受け
緑	点灯	緑	点灯	受信中（マイクオフ）
緑	点灯	オレンジ	点灯	送信中、受信中（マイクオン）
オレンジ	点灯	—		子機一斉動作、子機個別動作
赤緑交互点灯		—		妨害電波受信

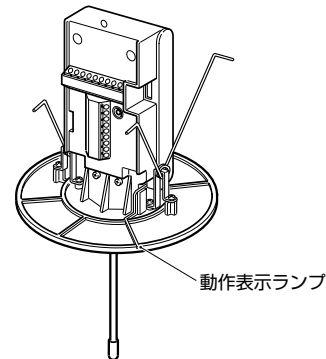


- 設置時のエリア確認用として、送受信ランプでエリア状態を表示させることもできます。送受信ランプでエリア状態を表示させるには、設定スイッチ2の1番：ON、2番：ON、5番：ONに設定します。エリア状態の表示は、つぎようになります。

送受信ランプ		状 態
消灯		圏外
緑	点灯	圏内（エリア1）
オレンジ	点灯	圏内（エリア2）
赤	点灯	エリア検索中

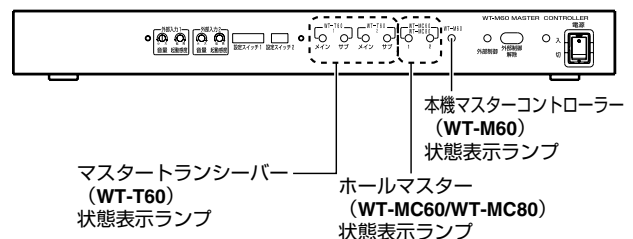


■マスタートランシーバー（WT-T60）



動作表示ランプ		状 態
消灯		電源供給なし
赤	点滅	異常検出
緑	点灯	正常待ち受け
オレンジ	点灯	子機から受信
赤緑交互点灯		妨害電波受信

■マスターコントローラー（WT-M60）



マスターコントローラー（WT-M60）状態表示ランプ

動作表示ランプ		状 態
緑	点灯	正常動作（外部入力起動なし）
オレンジ	点灯	正常動作（外部入力起動あり）

マスタートランシーバー（WT-T60）状態表示ランプ

動作表示ランプ		状 態
消灯		対応のWT-T60が接続されていないか、初期化に失敗
赤	点滅	対応WT-T60の異常
緑	点灯	正常待ち受け（受信なし）
オレンジ	点灯	対応するWT-T60で子機が通話中
赤緑交互点灯		対応WT-T60のチャンネルに妨害発生

ホールマスター（WT-MC60/WT-MC80）状態表示ランプ

動作表示ランプ		状 態
消灯		対応のWT-MC60/WT-MC80が接続されていないか、初期化に失敗
赤	点滅	対応WT-MC60/WT-MC80の異常検出
緑	点灯	正常待ち受け
オレンジ	点灯	対応する操作器で通話中

その他

こんなときは

使用中に不具合が生じた場合は、下記の内容をお調べください。

それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

対 象	症 状	考えられる原因	処 置	参照ページ
WT-M60	電源ランプが消えている	電源スイッチが“切”になっている	電源スイッチを“入”にしてください	9
		電源コードが抜けている	電源コードをコンセントに差ししてください	9
WT-TR60	子機の電源が入らない / 電源ランプがすぐ消える	専用充電機の残量がありません	①充電してください ②充電された専用充電機に交換してください	12
WT-M60	親機状態表示ランプが赤 / 緑の交互点灯になっている	近くで同じ方式 (400MHz 帯) のインターカムシステムや無線機が使われています	お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください	—
WT-TR60	すべての子機の TALK ボタンが押されていないのに送受信ランプが緑点灯になっている			
WT-TR60 WT-UM8 等	子機の TALK ボタンを押してもイヤホンから「ブー」という音が聞こえず送信できない (送受信ランプがオレンジ (赤緑同時) 点灯にならない)	コントロールマイクロホンのプラグが抜けかかっています	プラグを奥まで差しこんでください	12
WT-TR60	子機の TALK ボタンを押すとイヤホンから「ピ、ブ、ピ、ブ…」 「ブー、ピ、ブ、ピ、ブ…」 という音が聞こえて送信できない	①個別通話で操作器と他の子機が通話しています	しばらくしてから再び TALK ボタンを押してください	13 ~ 22
		②チャンネルがすべて使用されています		
		③通話エリア外です	通話エリア内に移動してから再び TALK ボタンを押してください	
WT-MC80	操作器から個別呼出しをすると「ピ、ブ、ピ、ブ…」 「ブー、ピ、ブ、ピ、ブ…」 という音が聞こえて送信できない	①呼出した子機が通話エリア外にいるか電源が切れています ②個別通話で別の操作器と子機が通話しています ③別の操作器または子機が通話中です ④外部機器からの音声を送られています (マスターコントローラーの制御部状態表示ランプがオレンジ (赤緑同時) 点灯状態)	しばらくしてから再び個別呼出しの操作をしてください	16
		押した個別ボタンに子機が割付けられていない	お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください	—
WT-TR60	受信できない (音が聞こえない)	「音量」が小さすぎます	音量を上げてください	7
		コントロールマイクロホンやイヤホンのプラグが抜けかかっている	プラグを奥まで差しこんでください	12
		通話エリア外です	通話エリア内に移動してください	28
WT-TR60 WT-MC60	通話が途中で切れる	操作器のボタンや子機の TALK ボタンを押す指がはなれた	通話中は、操作器のボタンや子機の TALK ボタンを押しつづけてください	13 ~ 21

対 象	症 状	考えられる原因	処 置	参照ページ
全体	雑音が出たり、音が途切れたりする	切れかけた水銀灯、ネオン灯や空気清浄機などが WT-T60 の近くにある	新しい電灯に交換してください 空気清浄機の電極を清掃してください	—
		コントロールマイクホンやイヤホンのプラグが汚れている	プラグを清掃してください	—
		子機の近くにキーホルダーやパイプイスなどの金属物があり、接触している	子機は金属に接触しないように使用してください	—
		子機と子機が近付きすぎている	子機と子機の間は 10cm 以上離してご使用ください	—
		近くにポンプやモーターなどがあり電源が不安定になっている	お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください	—
		同じ子機番号の子機から同時に発信された	しばらくしてから再び TALK ボタンを押してください お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください	13 ~ 21 —
全体	雑音が出たり、音が途切れたり、混信（関係ない通話が聞こえる）したりする	近くで同じ方式（400MHz 帯）のインターカムシステムや無線機が使われています （近くに工事現場があるなど）	お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください	—

保証とアフターサービス

● 保証書の記載内容のご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

● 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

商 品 名	機種名	部品名
マスターコントローラー	WT-M60	ラベル、シール
ホールマスター	WT-MC80	ネームカード①
		ネームカード②
ポータブルトランシーバー	WT-TR60	専用充電式電池
		ベルトクリップ
コントロールマイクロホン	WT-UM8	風防
	WT-UM33	ケーブルクランプ
	WT-UM12	イヤホンセット 耳栓(小) 耳栓(大) ユニット コード

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● メンテナンス契約のご案内

本機は、機械的的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

● サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター（045-939-7320）

● サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

● 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

- ・品名：ワイヤレスインターカムシステム
- ・型名：WT-T600 シリーズ
- ・お買い上げ日：
- ・故障の状況をできるだけ具体的に
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

本機ならびに関連商品の仕様及び外観は、改善のため予告なしに変更することがあります

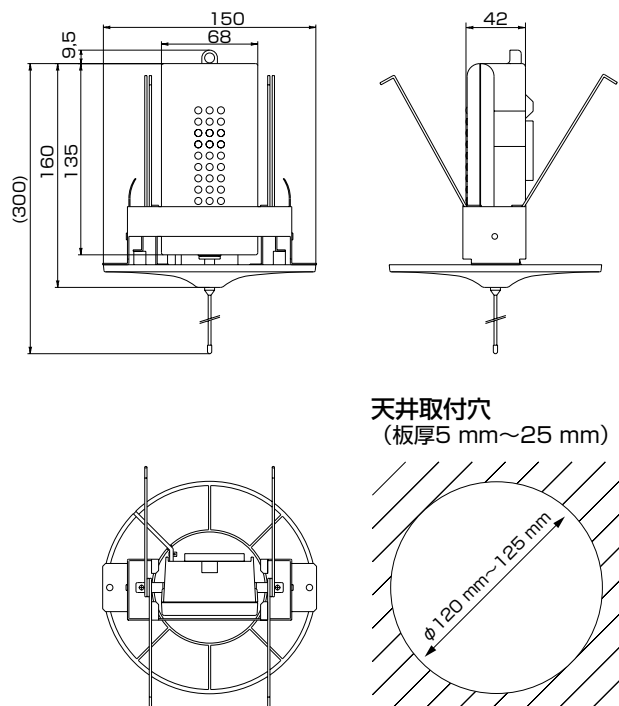
マスタートランシーバー (WT-T60)

通 信 方 式	複合方式または半複信方式
電 波 方 式	F3E
送 信 周 波 数	440.0250 MHz～440.3625 MHzから 選択 1 波
受 信 周 波 数	421.5750 MHz～421.9125 MHzから 選択 1 波
空 中 線 電 力	10 mW
発 振 方 式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
変 調 方 式	周波数変調方式
受 信 方 式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受 信 感 度	0 dB μ 以下 (12 dB, SINAD)
ア ン テ ナ	1/4 λ ホイップアンテナ
電 源	DC15 V (WT-M60 より供給) または、DC12 V (ACアダプターより供給)
消 費 電 流	120 mA 以下
動作温度範囲	0 °C～40 °C
質 量	0.32 kg (取付金具除く)
添付物・付属品	取扱説明書 1 安全上のご注意..... 1 保証書 1 天井取付金具 1 壁取付金具 1 ネジ (M4 × 40) 2 木ネジ (M4.1 × 38) 2 グロメット 1

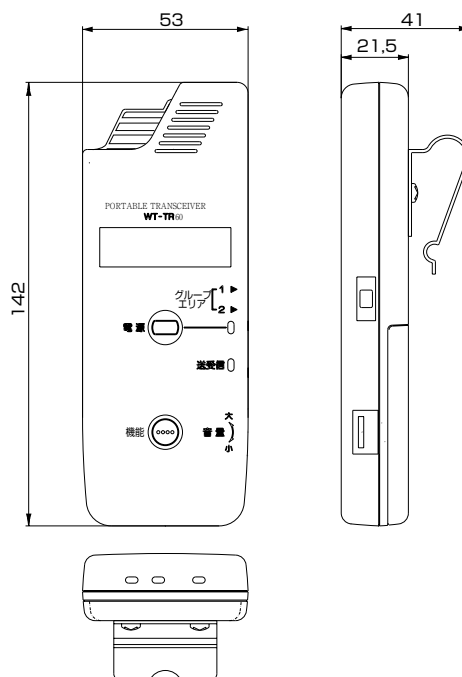
ポータブルトランシーバー (WT-TR60)

通 信 方 式	複合方式または半複信方式
電 波 方 式	F3E
送 信 周 波 数	421.5750 MHz～421.9125 MHzから 選択 1 波
受 信 周 波 数	440.0250 MHz～440.3625 MHzから 選択 1 波
空 中 線 電 力	10 mW
発 振 方 式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
変 調 方 式	周波数変調方式
受 信 方 式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受 信 感 度	0 dB μ 以下 (12 dB, SINAD)
ア ン テ ナ	ヘリカル型内蔵
電 源	DC3.6 V (専用充電式電池)
消 費 電 流	170 mA 以下
使 用 時 間	約 16 時間 (専用充電式電池 新品時 4 時間充電、 送受信 1 分、待受 9 分)
動作温度範囲	0 °C～40 °C
質 量	0.15 kg (専用充電式電池含む)
添付物・付属品	電池の取り扱いについてのご注意.. 1 保証書 1 ご注意 1

外形寸法図 (単位 : mm)



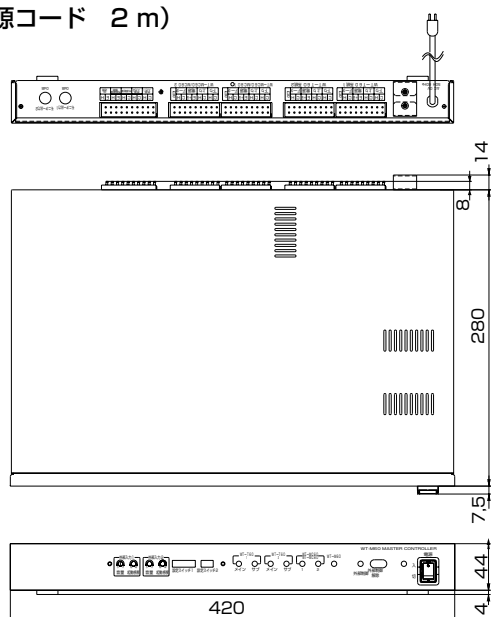
外形寸法図 (単位 : mm)



マスターコントローラー (WT-M60)

電 源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
消 費 電 力	21 W
モニター出力 1、2	φ 6.3 フォノジャック
出 力 レ ベ ル	0 dBs ± 2 dB、電子平衡
出力インピーダンス	100 Ω
外 部 入 力 1、2	端子板
入 力 レ ベ ル	− 20 dBs (トランス平衡)
入力インピーダンス	10 kΩ
動作温度範囲	0 °C ~ 40 °C
質 量	3 kg
添 付 物・ 付 属 品	安全上のご注意..... 1
	保証書..... 1
	サービス窓口案内..... 1
	ラベル..... 1
	ケーブルタイ..... 1
	シール..... 1
	カバー..... 1

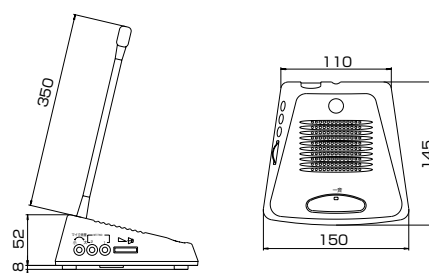
外形寸法図 (単位 : mm)
(電源コード 2 m)



ホールマスター (WT-MC60)

フレキシブルマイク	エレクトレットコンデンサ型
電 源	DC15 V (WT-M60 より供給) または、 DC12 V (AC アダプターより供給)
モニタースピーカー出力	300 mW ± 100 mW
外 部 入 力	1 回路、端子板 − 20 dBs, 10 kΩ, 電子平衡
モ ニ ター 出 力	1 回路、端子板 0 dBs ± 2 dB、100 Ω、電子平衡
消 費 電 流	250 mA 以下 (5 %歪率時)
質 量	0.5 kg
添 付 物・ 付 属 品	保証書..... 1
	サービス窓口案内..... 1
	ご注意..... 1
	ネジ (M3 × 5)..... 3
	ホルダー..... 1
	ワイヤークランプ..... 1

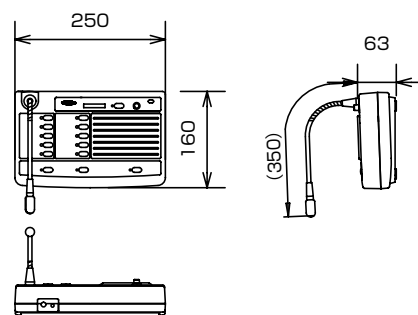
外形寸法図 (単位 : mm)



ホールマスター (WT-MC80)

フレキシブルマイク	エレクトレットコンデンサ型
電 源	DC 15 V (WT-M60 より供給)
モニタースピーカー出力	300 mW ± 100 mW
マイク入力	φ 3.5 ミニジャック − 46 dBs, 10 kΩ, 不平衡
出力レベル計	5 点 LED
消 費 電 流	250 mA 以下 (5 %歪時)
質 量	2.1 kg (フレキシブルマイク含む)
添 付 物・ 付 属 品	保証書..... 1
	サービス窓口案内..... 1
	ワイヤークランプ..... 1
	フレキシブルマイク組立..... 1
	ネジ (M3 × 6)..... 2

外形寸法図 (単位 : mm)



**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12